

2 0 0 3

# 授業概要

【シラバス】

## 福祉援助学科

白梅学園短期大学

SHIRAYUME GAKUEN COLLEGE



## 目次(福祉援助学科)

<b>教養教育科目(1年)</b>	1
教養体育(実技)	3~5
教養体育(講義)	6
外国語Ⅰ	7~10
外国語Ⅱ	11~14
海外語学研修	15
<b>専門教育科目(1年)</b>	17
社会福祉概論Ⅰ	19
社会福祉概論Ⅱ	20
老人福祉論Ⅰ	21
老人福祉論Ⅱ	22
リハビリテーション論	23
レクリエーション活動援助法	24
老人の心理	25
障害者の心理	26
家政学概論Ⅰ	27
家政学概論Ⅱ	28
医学一般Ⅰ	29
医学一般Ⅱ	30
精神保健	31
介護概論Ⅰ	32
介護概論Ⅱ	33
介護技術Ⅰ	34
介護技術Ⅱ	35
介護技術Ⅲ	36
形態別介護技術Ⅰ(老人)	37
形態別介護技術Ⅱ(内部障害・肢体不自由)	38
形態別介護技術Ⅴ(聴覚障害)	39
介護実習Ⅰ	40
介護実習Ⅱ	41
実習指導Ⅰ	42
福祉研究入門	43
家族福祉論	44
カウンセリング	45
発達心理学	46
遊びの造形	47
シニアの音楽とダンス	48
<b>教養教育科目(2年)</b>	49
ヒューマニズム論	51
総合科目・人間	52
総合科目・生命	53
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争)	54

現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望).....	55
現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命).....	56
人物研究Ⅰ[和泉式部].....	57
人物研究Ⅱ[柳田国男].....	58
人物研究Ⅲ[有島武郎].....	59
心理学入門Ⅰ[心のしくみ].....	60
心理学入門Ⅱ[性格と人間関係].....	61
体の不思議.....	62
生物の世界と人間.....	63
人間と環境.....	64
生と死を考える.....	65
人間の生と性.....	66
生活と健康.....	67
教養体育(実技).....	68~69
教養体育(講義).....	70
外国語Ⅰ.....	71~75
外国語Ⅱ.....	76~80
海外語学研修.....	81
情報処理演習.....	82
選択外国語 英会話(基礎).....	83
選択外国語 英会話(応用).....	84
選択外国語 フランス語会話.....	85
選択外国語 ドイツ語会話.....	86
選択外国語 英文購読.....	87
選択外国語 ビジネス英語.....	88
選択外国語 時事英語.....	89
選択外国語 異文化コミュニケーション.....	90
言語とコミュニケーション.....	91
文学芸術・フィクションと人間.....	92
造形美術とイマジネーション.....	93
話し言葉の伝承.....	94
絵本・絵巻と物語表現.....	95
源氏物語の世界.....	96
近現代の日本文学.....	97
庶民の生活文化.....	98
現代の文化と風俗.....	99
現代英米の文学.....	100
世界の児童文学.....	101
比較文化論・近代文明と日本人.....	102
国境を越える民俗学.....	103
現代社会と人権.....	104
憲法と私たち(日本国憲法).....	105
日本とアジアの近現代史.....	106
現代社会と教育.....	107
社会福祉の考え方.....	108
男と女・ジェンダーを考える.....	109
現代世界とマイノリティー.....	110

女性労働の問題	111
地域生活と家族	112
<b>専門教育科目(2年)</b>	<b>113</b>
障害児・者福祉論	115
社会福祉援助技術	116
社会福祉援助技術演習	117
家政学実習Ⅰ(栄養・調理)	118
家政学実習Ⅱ(被服・住居)	119~120
医学一般Ⅲ	121
形態別介護技術Ⅲ(知的障害・精神障害)	122
形態別介護技術Ⅳ(視覚障害)	123
介護実習Ⅲ	124
実習指導Ⅱ	125
実習指導Ⅲ	126
卒業研究ゼミナール	127~131
地域福祉論	132
ホスピスケア概論	133
視聴覚メディア活用法	134



教養教育科目（1年）





【授業科目】教養体育（実技）卓球	【担当者】野田達也
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>卓球について学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のような技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ボール、ラケットに慣れる。</li> <li>2) フォアハンド</li> <li>3) バックハンド</li> <li>4) サービス、レシーブ</li> <li>5) スマッシュ</li> <li>6) 回転のかけ方</li> <li>7) 試合の進め方</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】教養体育（実技）バドミントン	【担当者】野田達也
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>バドミントンについて学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のような技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ラケットに慣れる。</li> <li>2) オーバーヘッドストローク（フォアハンド、バックハンド）</li> <li>3) サイドアームストローク（フォアハンド、バックハンド）</li> <li>4) アンダーハンドストローク（フォアハンド、バックハンド）</li> <li>5) サービス、レシーブ</li> <li>6) ドロップ、スマッシュ、プッシュ</li> <li>7) 試合の進め方</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育(実技)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1年前期	
<b>【授業目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。</li> <li>・ 運動技能と知識の習得。</li> </ul>	
<b>【テキスト】</b> プリントを配布する。	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <b>【参考書】</b>	
授 業 計 画	
<b>【トランポリン】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、トランポリンを行なう前のルール説明</li> <li>2、トランポリンの移動方法</li> <li>3、トランポリンの準備と片付け方（組み立てとたたみ方）</li> <li>4、トランポリンへの上がり方、降り方</li> <li>5、トランポリンに慣れるための練習</li> <li>6、垂直跳び(ストレートバウンス)とジャンプの止め方（チェックバウンス）</li> <li>7、技能練習           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かかえ跳び</li> <li>・ 開脚跳び</li> <li>・ 閉脚跳び</li> <li>・ 腰落ち（シートドロップ）</li> <li>・ 開脚跳び一腰落ち</li> <li>・ ひざ落ち（ニーズドロップ）</li> <li>・ ひざ落ち一腰落ち</li> <li>・ 手つきひざ落ち（ハンズアンドニーズドロップ）</li> <li>・ 手つきひざ落ち一腹落ち</li> <li>・ 腹落ち（フロントドロップ）</li> <li>・ 腰落ち一1/2捻り一腰落ち（スイブルヒップス）</li> <li>・ 前方宙返り一腰落ち</li> </ul> </li> <li>8、連続技の練習</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常点（出席重視）</li> <li>・ 授業中に採点する。</li> </ul>	

【授業科目】教養体育（講義）	【担当者】野田達也
【開講期】1年後期前半	
<p>【授業目標】</p> <p>健康な身体の維持、増進に対して運動が持つ効果について学習し、自分自身が健康な身体を獲得していくとともに、周りの人間に対してもアドバイスできるよう正しい知識を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>人間が健康な身体を維持し、生活していくためには体力が必要となる。また、生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧症、心筋梗塞）や、骨粗鬆症などを引き起こさないためには、運動を実践することが必要となってくる。健康な身体の維持、または増進に対して運動が持つ効果について、生理学的な面から学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 体力についての概念</li> <li>2) エネルギー摂取量・消費量</li> <li>3) 体脂肪率の判定</li> <li>4) 骨量、骨粗鬆症</li> <li>5) 全身持久力</li> <li>6) 運動処方</li> <li>7) 運動療法</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。ペーパーテストおよび学習意欲についても評価の対象とする。</p>	

【授業科目】 外国語 I (福祉援助学科)	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 前期	
<b>【授業目標】</b> 1. 外国語としての英語を読む基礎を身につける 2. とりわけ音声として表現できることを重視する	
<b>【テキスト】</b> 必要に応じて指示する	
<b>【参考書】</b> 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. 英語の歌を聞き取りながらその内容を理解する。 2. 英語の歌に関する英文を読む。 3. 映画をもとにしてシナリオなどを学ぶ。 4. 英語を表現する楽しみを学ぶ。 * 日本の歌も英語で歌われているものがあり、それらについても授業で取り上げてみたい。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 外国語 I (中国語)	【担当者】 陳 志華
【開講期】 前期	
【授業目標】 この授業の目標は、①中国語の発音、②中国語の日常会話、③中国語の基本文法、を身につけることである。	
【テキスト】 方如偉・王智新・鏡屋一著 『新版 中国語 10 課』 白水社。	
【参考書】 必要に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<p>1、中国語の発音及び文法を基本から学習する。</p> <p>2、簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、対話する練習を積み重ねていく。</p>	
【評価方法】 平常点 (出席、小テスト) と 期末テストで評価する。	

【授業科目】外国語Ⅰ（フランス語）	【担当者】森佳子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>1：フランス語の発音の美しさに親しむ</p> <p>2：名詞、冠詞、形容詞の特徴を知る</p> <p>3：基本的な動詞の使い方を知り、活用が自在にできるようにする</p> <p>4：疑問文、否定文の作り方、使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1：フランス語の発音 アルファベと綴り字記号、発音</p> <p>2：名詞 男性名詞、女性名詞、単数、複数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞</p> <p>3：形容詞 形容詞の性と数、形容詞の位置、特殊な変化をするもの、名詞の女性形と特殊な複数形、指示形容詞、所有形容詞</p> <p>4：動詞 フランス語の8つの主語、動詞 être の現在形、動詞 avoir の現在形</p> <p>5：疑問文、否定文 疑問文の作り方、否定文の作り方、前置詞 à、de と定冠詞の縮約</p> <p>6：規則動詞 er 動詞、ir 動詞、代名動詞</p> <p>7：不規則動詞 aller と venir、近い未来と近い過去、その他の不規則動詞、命令法</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、後期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】外国語 - I (ドイツ語)	【担当者】田中 安行
【開講期】 1年前期	
<b>【授業目標】</b> 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 和やかな雰囲気での授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。	
<b>【テキスト】</b> 開講時に説明する。	
----- <b>【参考書】</b> 開講時に説明する。	
授 業 計 画	
<b>【授業計画】</b> 1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。 4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめて、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。  <b>【授業方法】</b> 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っているもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気の中で充実した学習ができるようにする。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	



【授業科目】 外国語Ⅱ（福祉援助学科）	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
<b>【授業目標】</b> 1. 外国語としての英語を読む基礎を身につける 2. とりわけ音声として表現できることを重視する	
<b>【テキスト】</b> 必要に応じて指示する	
<b>【参考書】</b> 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
1. 英語の歌を聞き取りながらその内容を理解する。 2. 英語の歌に関する英文を読む。 3. 映画をもとにしてシナリオなどを学ぶ。 4. 英語を表現する楽しみを学ぶ。  * 日本の歌も英語で歌われているものがあり、それらについても授業で取り上げてみたい。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 外国語Ⅱ（中国語）	【担当者】 陳 志華
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業の目標は、①中国語の基本文法の理解力、②中国語の会話能力、③中国語文章の読解力、をさらに高めることである。</p>	
<p>【テキスト】 方如偉・王智新・鏡屋一著</p> <p>『新版 中国語10課』白水社。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、中国語の日常会話をさらに練習し、中国語文章の読解及び簡単な文章づくりを行う。</p> <p>2、中国文化及び急激に変化している中国民衆生活の実態を学びながら、中国語の教養を深める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。</p>	

【授業科目】外国語Ⅱ（フランス語）	【担当者】森佳子
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1：フランス語を通して、フランス文化を理解する</p> <p>2：過去形、未来形の作り方、使い方を知る</p> <p>3：いろいろな疑問文や比較級の作り方、使い方を知り、さらに幅広い表現力をつける</p> <p>4：フランス語特有の代名詞の使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>8：過去形 複合過去、avoir+過去分詞、être+過去分詞、代名動詞の複合過去</p> <p>9：未来形 単純未来、前未来</p> <p>10：いろいろな疑問文 疑問副詞、疑問代名詞、疑問形容詞、非人称構文</p> <p>11：比較 比較級、最上級</p> <p>12：代名詞 補語人称代名詞、強勢形人称代名詞、所有代名詞、指示代名詞、中性代名詞</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、前期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】外国語 - II (ドイツ語)	【担当者】田中 安行
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。</li> <li>2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。</li> <li>3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。</li> <li>4. 和やかな雰囲気での授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。</li> </ol> <p>注： 外国語 - II (ドイツ語) は、外国語 - I (ドイツ語) 修得者又はその学力のある者が履修できる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。</li> <li>2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。</li> <li>3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。</li> <li>4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。</li> <li>5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。</li> <li>6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめ、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。</li> </ol> <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。</li> <li>2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。</li> <li>3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。</li> <li>4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料 (ビデオ・スライド・写真など) を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る</li> <li>5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。</li> <li>6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気です充実した学習ができるようにする。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 海外語学研修	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1 年前期・2 年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約 4 週間滞在することによって、生の英語に接し、英語運用能力を高める。また、イギリスで生活し、名所旧跡を訪ねることによって、イギリスの生活習慣や文化を肌で感じ体得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業の中心は 8 月 2 日出国、イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで 3 週間実施される語学研修にホームステイしながら参加、8 月 27 日帰国のイギリス滞在にある。しかし、出発に備えて、前期に 5 回の事前指導を行う。パスポートの取得から、渡航手続きをこの期間に行い、あわせて現地での基礎情報や生活情報、そして必要最低限の英語の学習を行う。参加費は、別に配布されるチラシを参照のこと。英語力については、一切問わず、ゼロからでも現地の先生が懇切丁寧に指導してくれ、帰国するときには、英語の面白さが身にしみてわかるだろう。全期間担当者が同行する。なお、最低催行人数に達しない場合は、実施されないこともあるので注意。</p> <p>予定内容（あくまでも予定）</p> <p>5 回の事前指導</p> <p>8 月 2 日 成田出発 直行便にてロンドン</p> <p>8 月 3 日 ロンドンからリーズへ</p> <p>8 月 3 日—8 月 24 日 ホームステイして、メトロポリタン大学の語学センターにて研修</p> <p>8 月 24 日 リーズからロンドンへ</p> <p>8 月 25 日 ロンドン市内観光</p> <p>8 月 26 日 ロンドン・ヒースローから帰国の途</p> <p>8 月 27 日 成田帰国</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、出席点に現地での課題成績を加味して評価する</p>	



專門教育科目（1年）





【授業科目】社会福祉概論Ⅰ	【担当者】山路憲夫
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とは何か。その理念と制度、現状を概括的に学ぶ。さらに慈善・社会事業から社会福祉への展開を欧米との比較をしながら振り返る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>福祉士養成講座編集委員会編集「介護福祉士養成講座・社会福祉概論」中央法規</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>1回 暮らしと社会福祉</p> <p>2回 社会福祉とは何か</p> <p>3回 社会福祉の理念と概念と目的</p> <p>4～8回 社会福祉の歩み</p> <p>9～13回 欧米の社会福祉</p> <p>14回 社会福祉法制と運営実施主体</p> <p>15回 社会福祉の行政と財政</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と出席状況</p>	

【授業科目】社会福祉概論Ⅱ	【担当者】山路憲夫
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現行の社会福祉の制度と仕組みを突っ込んで理解しそれらが現代にどんな役割を果たし、意味をもつのか。また、社会福祉援助活動に取り組む倫理や専門性を把握する。さらに加速する少子高齢化、地域の役割、国際化といった課題も合わせて取り上げたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>福祉士養成講座編集委員会編集「介護福祉士養成講座・社会福祉概論」中央法規</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>1～3回 社会福祉諸分野の展開(公的扶助、児童・高齢者・障害者福祉)</p> <p>4回 社会福祉の主体</p> <p>5回 社会福祉のニーズの把握</p> <p>6～7回 社会福祉援助の意味、形態、援助方法</p> <p>8～9回 専門性とマンパワー</p> <p>10回 福祉士法の内容と意義</p> <p>11～12回 地域福祉の現状と課題</p> <p>13～14回 日本の社会保障の動向</p> <p>15回 21世紀の社会福祉の現代的課題</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と出席状況</p>	

【授業科目】 老人福祉論 I	【担当者】 矢部 広明
【開講期】 1 学年 前期	
<p>【授業目標】 老化とは何か、高齢者が人間としての尊厳をもって生きることが保障される社会的システムとはどうあるべきかを追求する視点から、人口高齢化をはじめとする国民の老後問題とニーズ、現在の高齢者・家族の実態、老人福祉制度の仕組み、諸課題について、歴史的、社会的背景とともに把握、理解することとし、その上に立って、現場で諸制度を活用して問題解決に取り組める力量の獲得をめざす。</p>	
【テキスト】 老人福祉論（新版社会福祉学習双書2） 全国社会福祉協議会	
<p>-----</p> <p>【参考書】 今堀和友「老化とは何か」岩波新書 1993 年 暉峻淑子「豊かさとは何か」岩波新書 1989 年 シモーヌポーヴォワール「古い」（上下）人文書店 1988 年 その他授業中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 老化とは何か</li> <li>2 少子高齢化と社会的課題</li> <li>3 高齢者の生活実態 介護問題の現状</li> <li>4 老人福祉の歴史（老人福祉法制定以前）</li> <li>5 老人福祉の歴史（老人福祉法制定後）</li> <li>6 高齢者福祉施策の課題</li> <li>7 高齢者福祉の課題とニーズの把握方法</li> <li>8 痴呆症をめぐる諸問題</li> <li>9 老人医療の現状</li> <li>10 高齢者の死をめぐる課題</li> <li>11 老人福祉法と制度</li> <li>12 老人医療制度</li> <li>13 老人保健事業</li> <li>14 介護保険制度創設のねらいと背景</li> <li>15 介護保険制度の概要と課題①</li> </ol>	
【評価方法】 定期試験及びレポート課題作成、授業アンケート（毎回）、適時実施する模擬試験等により、総合的に評価	

【授業科目】 老人福祉論 II	【担当者】 矢部 広明
【開講期】 1 学年 後期	
<p>【授業目標】 前期の老人福祉論 I をふまえ、高齢者に対する社会福祉、介護施策を具体的に学ぶとともに、その課題、問題点について理解する。</p> <p>また、高齢者への援助の視点、方法を学ぶ。それらの上に立って、現場で諸制度を活用して高齢者の諸課題解決に取り組める力量の獲得をめざす。</p>	
【テキスト】 老人福祉論（新版社会福祉学習双書 2） 全国社会福祉協議会	
<p>-----</p> <p>【参考書】 授業中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護保険制度の概要と課題②</li> <li>2 在宅福祉制度</li> <li>3 施設福祉制度</li> <li>4 民間非営利活動</li> <li>5 シルバーサービス</li> <li>6 高齢者福祉関連分野</li> <li>7 保健・医療・福祉サービスの連携</li> <li>8 高齢者と住宅問題</li> <li>9 福祉用具の活用</li> <li>10 高齢者の就労をめぐる現状と課題</li> <li>11 高齢者の住みよいまちづくり</li> <li>12 高齢者に対する相談援助活動の基本</li> <li>13 ケアマネジメント</li> <li>14 相談援助事例</li> <li>15 老人福祉従事者の現状と養成</li> </ol>	
【評価方法】 定期試験及びレポート課題作成、授業アンケート（毎回）、適時実施する模擬試験等により、総合的に評価	

【授業課目】 リハビリテーション論

【担当者】望月 彬也

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

- 1 リハビリテーションの理念と基本原則を理解させる
- 2 障害の程度とその影響を理解させる
- 3 リハビリテーションの展開過程について理解させる
- 4 日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持拡大への援助について理解させる

【テキスト】

リハビリテーション論 中央法規

【参考書】

授 業 計 画

- 1 リハビリテーションの理念と基本原則
  - 1) リハビリテーション事業の発展と現代社会におけるリハビリテーションの需要
  - 2) リハビリテーションの概念及び基本原則
  - 3) リハビリテーションにおける総合的サービス体系
- 2 障害の程度とその影響
  - 1) 老化による機能障害
  - 2) 障害者の身体的障害、知的障害、精神障害、重複障害
  - 3) 障害児の発達障害
- 3 リハビリテーションの展開過程
  - 1) リハビリテーション過程（相談と事前評価、リハビリテーション計画の作成（目標の設定を含む）、実施、実施後の評価）
  - 2) 個人的特性の把握
  - 3) 日常生活動作（ADL）評価
  - 4) 職業評価
  - 5) 社会参加の実現
- 4 リハビリテーションと介護
  - 1) 日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持・拡大への援助
  - 2) リハビリテーション分野の専門職との連携
- 5 事例研究  
障害形態別の事例

【評価方法】

筆記テスト

【授業科目】レクリエーション活動援助法	【担当者】浮田千枝子・高橋紀子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>介護の現場で必要とされるレクリエーション活動援助に関する基本的な知識や技術、援助者の役割と態度について学ぶ。また、介護現場でのレクリエーションの計画技術や援助実践能力の習得に力点をおき、個人ニーズの理解に基づいた利用者に応じたレクリエーション援助の展開法について実技および演習形式で学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『レクリエーション活動援助法』中央法規出版</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時提示する。また、授業中にプリント等を配布する。</p>	
授 業 計 画	
<p>&lt;前 期&gt;</p> <p>目標：①レクリエーションについての基本的な理解を得る  ②さまざまなレクリエーションの素材を体験し、その提供方法を学ぶ。特にグループを活用したレクリエーション体験を中心に学ぶ。</p> <p>内容：I. レクリエーションの基本的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションとは何か</li> <li>・社会福祉におけるレクリエーションの役割</li> <li>・福祉サービス利用者の生活の特徴とレクリエーション活動の意義</li> <li>・社会福祉とレクリエーションの歴史 など</li> </ul> <p>II. レクリエーション活動の体験とその提供方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを促進する実技</li> <li>・福祉サービス利用者を意識したレクリエーション活動の体験</li> <li>・グループを活用したレクリエーションの提供方法 など</li> </ul> <p>&lt;後 期&gt;</p> <p>目標：①レクリエーション活動の援助計画の立て方を学ぶ。  ②利用者一人ひとりにふさわしい個別レクリエーション活動の提供方法を学ぶ。  ③事例研究を通して援助者の役割を学ぶ。</p> <p>内容：I. レクリエーション活動援助計画の立案～介護実習Ⅰを素材に～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・援助計画立案の基礎（条件、手順、など）</li> <li>・援助計画立案の実際&lt;演習&gt;</li> <li>・実施と評価の方法</li> <li>・実習でのレクリエーション活動援助の振り返り</li> </ul> <p>II. 個別レクリエーション活動の提供方法～介護実習Ⅱに向けて～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の理解とニーズをどう把握するか</li> <li>・余暇歴およびレジャーカウンセリングの方法</li> <li>・個別レクリエーション活動援助の要点とその方法</li> </ul> <p>III. 事例研究および援助者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者へのレクリエーション活動援助</li> <li>・障害者へのレクリエーション活動援助</li> <li>・レクリエーション活動援助者に求められるもの～まとめ～</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・授業態度・授業中に課すレポート・学年末試験により総合的に評価する</p>	

【授業科目】 老人の心理	【担当者】 安藤孝敏
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、高齢者の心理的特徴に関する基礎的な知識を学ぶことにより、支援したり介護したりする高齢者をより深く理解できるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>長嶋紀一・佐藤清公（編） 介護福祉士選書7「老人心理学」 建帛社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老化とは 老化のとらえ方、老化説、老化のあらわれ方について理解し、老年期とはどのような時期であるのかについて考える。</li> <li>2. 精神機能と知的機能の変化 加齢にともなって精神機能と知的機能がどのように変化するかについて理解する。</li> <li>3. 老年期のパーソナリティと適応 パーソナリティの発達理論やパーソナリティの変容について知ることにより、老年期のパーソナリティをより正しく理解する。</li> <li>4. 老年期の異常心理 意識混濁、妄想、幻覚など的高齢者にみられる異常心理を理解する。</li> <li>5. 老年期痴呆 痴呆の原因と種類、症状のあらわれ方や経過、心理的特徴、具体的対応の仕方などを理解する。</li> <li>6. 老年期の人間関係 老年期における人間関係を高齢者自身の変化と環境の変化からとらえ、どのようにすれば老年期の生活の質を高められるのかについて理解する。</li> <li>7. 高齢者と死 死の定義、死に対する恐怖、死についての態度の発達、死のプロセスなどを知り、老いの究極点である死についての理解を深める。</li> <li>8. 高齢者とのかかわり方 高齢者の生涯学習と社会参加、高齢者への精神的援助としての精神療法などについて理解する。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験と出席状況により評価する</p>	

【授業科目】 障害者の心理	【担当者】 堀江まゆみ
【開講期】 1年 前期	
<b>【授業目標】</b> 1. 近年の「障害概念」について理解し、障害のある人に関する基本的な知識と理解を得る 2. さまざまな障害の特徴とその「理解のあり方」について理解を深める 3. 地域生活をおくる障害のある人に生起する「心理的問題」とその援助について、事例を通して考える	
<b>【テキスト】</b> 授業の中で提示する	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <b>【参考書】</b>	
授 業 計 画	
1. 「障害概念」の理解 ① 近年の「障害概念」の変遷とその意味するもの ② 「障害」と生活のしづらさの関連 ③ 「障害概念」の変化と現代社会の有する問題  2. さまざまな障害に関する基本的理解 ① 視覚障害の特徴とその援助 ② 聴覚障害の特徴とその援助 ③ 知的障害の特徴とその援助 ④ 脳性まひの特徴とその援助 ⑤ その他の障害について  3. 障害のある人の生活支援と心理的援助 ① 障害のある人の生活—先天性障害と中途障害 ② 障害の「受容」と心理的援助 ③ 障害のある人の自己実現と心理的援助  4. 現代社会における障害のある人を取り巻く現状と課題—事例を通して ・トピックスとして事例を紹介するので、グループ討議しながら問題を考える	
<b>【評価方法】</b> 定期試験（持ち込み不可）、出席点	



【授業科目】 家政学概論Ⅰ	【担当者】 風見公子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体の生理機能と栄養の関係について理解させる。</li> <li>2. 高齢者、障害者（児）の栄養摂取など、食生活のあり方について理解させる。</li> <li>3. 食品衛生を含んだ食品についての知識を学ばせる。</li> <li>4. 調理の概要について理解させる。</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">山口和子 編著 「家政学概論Ⅱ－栄養・調理編－」 建帛社</p>	
<p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">参考書は授業の中で、適宜、紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体の機能と栄養素 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 栄養摂取の意義と口腔からの食物摂取</li> <li>2) 栄養素の機能とその消化吸収</li> <li>3) 栄養所要量</li> <li>4) 食事リズム</li> <li>5) ストレスと栄養</li> </ol> </li> <li>2. 高齢者・障害者（児）と栄養 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者の栄養と食生活のあり方</li> <li>2) 障害者（児）の栄養と食生活のあり方</li> <li>3) 生活習慣病予防と食事</li> </ol> </li> <li>3. 食品・調理 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) タンパク質性食品の性質と調理特性</li> <li>2) 脂肪性食品の性質と調理特性</li> <li>3) 炭水化物性食品の性質と調理特性</li> <li>4) 食品成分の変化</li> <li>5) 食品の保存性と安全性</li> <li>6) 食べ物の嗜好性、おいしさ</li> <li>7) 調理器具、設備、エネルギー源</li> </ol> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">試験もしくは課題レポート及び出席状況</p>	

【授業科目】 家政学概論Ⅱ	【担当者】 中川英子
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>本講義の目的は、介護の基礎となる家庭生活全般の意義を理解し、経営・管理能力を養うことにある。さらに、専門職の介護福祉士として高齢者の生活を理解し、個々のニーズに応じた生活支援（家事援助）に、科学的知識をもって対応できる人材を育成することが、本講義の最終的な目標である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>松岡明子・大谷陽子編著ほか「家政学概論Ⅰ－家政・生活編」（株）建帛社 2002</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>岩崎芳枝 監修「図説家庭科資料集」（株）実教出版 2001</p>	
授 業 計 画	
<p>「家政学概論Ⅱ」では、食生活（「家政学概論Ⅰ」）を除く3つの生活領域（家庭生活、衣生活、住生活）について、以下の要領で講義する。</p> <p>第1回 ガイダンス</p> <p>授業計画の説明、および授業を受けるにあたっての注意などをおこなう（シラバス必携のこと）また、生活領域全般についての模擬試験（自己採点）を実施することにより、本講義に対する学習の動機づけを促す。</p> <p>第2～6回 家庭生活の意義と経営・管理</p> <p>家庭生活全般の基礎知識（家庭生活の意義・体系・重要性、家族周期と生活設計、家庭経済など）について学ぶ。さらに、高齢社会の家庭経営の観点から、高齢期の特徴と生活不安、それに対応する各種制度とその問題点などについて考える。</p> <p>第7～10回 衣生活</p> <p>衣生活全般の基礎知識（被服の役割と機能、素材、保健衛生、選択と管理など）について学ぶ。さらに、高齢者の身体的特性を理解した上で、高齢者にとっての快適な衣生活について、被服の着脱の仕方やADL評価、ファッション性などの観点から考える。</p> <p>第11～14回 住生活</p> <p>住生活全般の基礎知識（生活と住まい、住まいの設計と居住性、住まいと管理）について学ぶ。さらに高齢者の住まいの機能と役割、住環境、生活行動・空間、快適な室内環境、住まいの管理・安全などを理解することにより、高齢者の自立生活に果たす住まいの役割を考える。</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>学習した授業内容について総括をおこなう。さらに、介護福祉士国家試験の模擬試験（自己採点）を実施することにより、各自で学習の達成度を確認する。</p> <p>* 本講義では、さまざまな生活場面の理解を深めるために、毎回、講義内容に即したビデオを上映する。また授業では、現実生活を擬似的に体験するための各種の教材を積極的に活用する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>・授業態度、出席率、課題の提出状況、筆記試験などにより、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 医学一般 I	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人体の解剖・生理を中心に学習する。これらを基礎として、肢体不自由や内部障害・加齢現象や加齢による障害の理解をはかる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>からだの構造と機能 A. シェフラー ,S. シュミット著 (西村書店)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 人体の構造と機能 エレイン N. マリーブ著 (医学書院)</p> <p>介護福祉士養成講座 10 医学一般 (中央法規)</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 人体の解剖学・生理学—人体の各部の名称と構成、機能の理解</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 脳・神経系</li> <li>2) 循環器系</li> <li>3) 呼吸器系</li> <li>4) 消化器系</li> <li>5) 泌尿器系</li> <li>6) 生殖器系</li> <li>7) 内分泌系</li> <li>8) 血液系</li> <li>9) 感覚系</li> <li>10) 運動系</li> </ol> <p>2. 肢体不自由や内部障害の理解</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 肢体不自由とは <ol style="list-style-type: none"> <li>① 脳卒中後遺症による肢体不自由</li> <li>② 脳性麻痺、脊髄損傷、慢性関節リウマチによる肢体不自由</li> </ol> </li> <li>2) 内部障害の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 心機能障害</li> <li>② 呼吸機能障害</li> <li>③ 腎機能障害</li> <li>④ 消化器機能障害</li> </ol> </li> </ol> <p>3. 高齢者の心身機能障害に対する理解</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点と筆記試験</p>	

【授業科目】 医学一般Ⅱ	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1年 後期	
<b>【授業目標】</b> 1.人体の構造と機能の総合的理解をはかる。 2.胎生期から老年期に至る発達・成長・加齢現象の理解を基礎として、高齢者と高齢者疾患に対する理解を深め、その対処法を習得する。 3.福祉現場で遭遇する代表的疾患の理解をはかる。	
<b>【テキスト】</b> 介護福祉士養成講座 10 医学一般 (中央法規)	
<b>【参考書】</b> ベッドサイドマニュアル 成人内科看護 (中央法規) エキスパートナース 内科疾患看護マニュアル (小学館) 看護観察のキーポイントシリーズ 高齢者 (中央法規)	
授 業 計 画	
1. 各器官の構造と機能の理解と、臓器相互関係の理解も図る 2. 胎生期から老年期に至る発達・成長・加齢現象の理解 ①老人特有の症候の理解と対処法 1) 意識障害 2) 不眠 3) 転倒 4) 尿失禁 5) めまい 6) 誤嚥 7) 腰痛 8) 脱水・浮腫 9) 便秘 10) decubitus 11) 譫妄 12) 手足のしびれ など ②老年者の救急疾患と対策：心臓血管系疾患・精神神経疾患・呼吸器疾患・ 消化器疾患での救急時の症状理解とその対処法の修得。 ③ターミナルケア：ターミナルケアの捉え方と理想的なターミナルケアの在り方を考える 3. 代表的疾患の概要 1) 循環器系；高血圧・虚血性心疾患・心不全・不整脈など 2) 脳・神経系；脳血管障害・神経痛・末梢神経障害・パーキンソン病・脳性麻痺 脊髄小脳変性疾患・筋疾患・など 3) 内分泌・代謝系；糖尿病・痛風・甲状腺機能亢進症と低下症・高脂血症など 4) 腎・泌尿器系；尿路感染症・前立腺肥大症・前立腺癌・膀胱癌・腎不全など 5) 血液系；貧血・成人 Tcell 白血病・悪性リンパ腫など 6) 呼吸器系；肺炎・結核・インフルエンザ・ARDS 7) 消化器系；肝炎・出血性大腸菌感染症・消化性潰瘍など 8) 各種感染症；法定伝染病・指定伝染病・食中毒・日和見感染・MRSA など 9) 筋・骨・関節系；骨折・脊髄損傷・骨粗鬆症・変形性脊椎症・慢性関節リウマチなど 10) 癌・生活習慣病 11) 難病・先天性疾患	
<b>【評価方法】</b> 出席点と筆記試験	

【授業科目】 精神保健	【担当者】 伊藤 敬雄
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会が抱えている精神不健康状態，とくに高齢者や障害者の精神不健康状態に対して，十分な理解とその対応に習熟するために自らが精神保健の大切さを知ることが目的とする。精神保健の知識ばかりでなく，心身障害のために生活に支障をきたしている方々への心身状態把握と同時に，全人間的ケアができる考え方を身につけていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>福祉士養成講座編集委員会編集 『介護福祉士養成講座 11 精神保健』中央法規 2003年</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 精神保健の概念と動向，現代社会における精神保健の意義と役割</p> <p>II ライフステージにおける精神保健の諸問題</p> <p>III 生活の場における精神保健の諸問題</p> <p>IV 精神医学について</p> <p>V 精神障害の基礎知識，とくに老年期の精神障害</p> <p>VI 精神保健福祉行政の概要，とくに痴呆性老人対策</p> <p>精神保健の実践的知識の修得と実践の場面での考え方を養っていく</p> <p>また『精神医学』に触れることで，精神不健康状態を通して人間の在り様を考えることを目的とする</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>I 授業時の課題提出</p> <p>II 学期末筆記試験</p>	

【担当科目】 介護概論 I	【担当者】 関谷 榮子
【開講期】 1 年 前 期	
<b>【授業 目標】</b> 1. 介護の目的と機能、介護援助の基本原則を理解する。 2. 人間の発達と自立的生活の過程についての知識を持ち、高齢者や障害者の介護並びにその家庭に対する援助について学ぶ。 3. 介護を行うに際して必要な援助方法の理論と実際を学ぶ。	
<b>【テキスト】</b> テキスト 介護概論 メジカルフレンド社	
<b>【参考書】</b> 講義の中で随時紹介する。ビデオ教材なども紹介する。	
授 業 計 画	
1. 介護の概念 1) 介護の目的・定義（根拠法律 社会福祉士・介護福祉士法 自立支援 人権尊重、生活の質） 2) 介護の倫理（職業倫理、守秘義務、信用失墜行為の禁止） 3) 介護の領域（関係領域、関係職種との連携） 4) 介護の歴史（我が国と外国の介護状況）  2. 介護援助の方法 1) 介護援助の原則（自己決定 自己選択、自立生活援助、文化的・社会的生活援助） 2) 介護援助関係（対人援助の技法 日常生活援助） 3) 介護過程（科学的問題解決法、個別介護援助計画） 4) 介護援助技術（観察、ニーズ把握、コミュニケーション、記録、報告）  3. 介護援助の対象 1) 利用者の理解（高齢者及び障害者の心理と身体的特徴の理解） （老いとはなにか、一人一人の歴史を知る） （障害者とはどういう人か） 2) 利用者の援助課題（身体的生活援助 文化的社会的生活援助） （1）自立的な生活維持に対するニーズと介護の機能 （2）健康のメカニズムと健康障害時のニーズと介護の役割 （3）高齢者、障害者（児）の生活障害と介護の役割 （4）終末ケア、緊急時の対応における介護の役割 （5）個別ケアの進め方、受け持ち利用者の介護計画  4. 介護管理 1) 環境の整備 2) 安楽と安全 3) 社会生活の維持と拡大 4) 生活リズムと健康習慣の維持 5) 労働安全、事故防止	
<b>【評価方法】</b> レポート 及びペーパー試験	

【担当科目】 介 護 概 論 II	【担当者】 関谷 榮子
【 開講期 】 1 年 後 期	
<p>【授業 目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護を必要とする人たちの身体・精神的健康状態の変化に対応した、介護援助サービスの提供方法、提供の場について理解する。</li> <li>2. 介護と家政、看護・医療など関係領域や関係職種との連携について理解する。</li> <li>3. 個別介護計画及び、ケアプランの作成方法を学び、ケア・マネージメントについて理解する。</li> <li>4. 介護サービス提供の場について理解する。</li> <li>5. 自己の介護観を確立する。</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">テキスト 介護概論 メジカルフレンド社</p>	
<p>【参考】 講義の中で随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護活動の場に特有の問題と介護の技法       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入居型福祉施設（長期、短期）</li> <li>2) 居宅型福祉施設、（在宅支援センター、デイサービス、ホームヘルプサービスなど）</li> <li>3) 地域における福祉関係者との連携・協力方法 －介護実習Ⅰと関連づけて介護の技法を学ぶ－</li> </ol> </li> <li>2. 個別介護計画（ケアプラン）の立て方と応用方法       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 介護計画と記録の方法、活用方法、評価方法</li> <li>2) ケース・カンファレンスの方法</li> <li>3) ケア・マネージメントの方法</li> <li>4) ケアプランの作成と応用の方法を学ぶ</li> </ol> </li> <li>3. 関係機関と関連領域との連携       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 介護と家政、看護・医療、家政管理、栄養調理、リハビリテーション部門の特徴と連携方法について学ぶ。</li> <li>2) 地域関係機関との連携・地域ケア部門との連絡連携</li> </ol> </li> <li>4. 地域ケアと在宅ケア       <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームヘルプ活動</li> <li>ホームヘルパーとは</li> </ul> </li> <li>5. 介護観の確立へ向けての自己学習課題の設定</li> <li>6. 先進的事例について学ぶ。</li> </ol>	
<p>【評価方法】 レポート 及びペーパー試験</p>	

【授業科目】介護技術Ⅰ	【担当者】土川洋子・西方規恵
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】（介護技術ⅠⅡⅢ共通）</p> <p>1 介護技術の習得に際しては、下記の2点を目標にする。</p> <p>1) それぞれの介護技術の根拠となる基本的知識を学ぶ。</p> <p>2) 利用者の自立と安全・安楽に配慮した基礎的介護技術ができる。</p> <p>2 介護に適した住まい、住設備機器及び福祉用具について学ぶ。</p> <p>3 介護過程の展開方法について学ぶ。</p>	
【テキスト】 新版 介護福祉士養成講座「介護技術Ⅰ・Ⅱ」中央法規出版	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1 コミュニケーションの技法</p> <p>1) 傾聴</p> <p>2) 面接時の洞察、共感の技法</p> <p>3) 言葉や身振りの理解と問題確認の技法</p> <p>4) 自己の役割を伝え、納得と合意をうる表現技法</p> <p>2 状態の変化の確認と不調のきざしの発見の技法</p> <p>1) 眠り方や目覚めの状態の変化</p> <p>2) 体温、脈拍、呼吸、皮膚の状態の変化</p> <p>3) 嚥下の状態や排泄物の変化</p> <p>4) 状態に対する理解力、判断力の変化</p> <p>5) 感情の変化</p> <p>6) 視覚、聴覚及び知覚の変化</p> <p>3 安全で危険のない住まいや居住環境の整え</p> <p>1) 移動スペースに応じた住まいの配置、位置、高さ</p> <p>2) 浴室、トイレ、台所等の居住環境の整え</p> <p>3) プライバシー空間の設営</p> <p>4) 衣類、寝具の衛生管理並びに掃除、ベッドメイキング</p> <p>4 社会生活維持拡大への技法</p> <p>1) 体位交換と安楽な体位の工夫（用具の使い方）</p> <p>2) 歩行介助、車椅子、ストレッチャー介助</p> <p>3) ベッド上の座位、立位の介助</p> <p>4) 機能維持の運動と機能訓練への援助 つどい、外出、遠出など</p>	
【評価方法】 レポートとテストにより評価する。	



【授業科目】介護技術Ⅱ	【担当者】土川洋子・西方規恵
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>(介護技術ⅠⅡⅢ共通)</p> <p>1 介護技術の習得に際しては、下記の2点を目標にする。</p> <p>1) それぞれの介護技術の根拠となる基本的知識を学ぶ。</p> <p>2) 利用者の自立と安全・安楽に配慮した基本的介護技術ができる。</p> <p>2 介護に適した住まい、住設備機器及び福祉用具について学ぶ。</p> <p>3 介護過程の展開方法について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>新版 介護福祉士養成講座「介護技術」Ⅰ・Ⅱ 中央法規出版</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 衣服の着脱</p> <p>2 食事</p> <p>食事場所や食器等用具の整え、姿勢や口の状況に適した介助、好みへの配慮と食事量の観察、誤嚥防止・脱水防止</p> <p>3 身体の清潔</p> <p>口、目、耳、鼻、爪、頭髮等の清潔法、清拭法（全身・部分）、部分浴（手浴・足浴）、入浴法（家庭浴槽、簡易浴槽、機械浴、一般浴）</p> <p>4 排泄</p> <p>トイレでの排泄介助、ポータブルトイレ・便器・尿器による排泄介助、自立度に応じた衣類寝具の選択と介助、失禁時の対応と排泄自立への配慮と介助、便秘・下痢の対応、おむつ交換</p> <p>5 安楽と安寧の技法</p> <p>指圧・マッサージ、あん法、安眠への援助</p> <p>6 福祉用具の概要と活用</p> <p>福祉用具の意義・概要、選択、活用及び管理にかんする援助</p> <p>7 医療、看護対応時の介助</p> <p>受診時の介助、薬の管理と与薬時の介護</p> <p>8 褥創予防と創の手当ての基礎知識</p> <p>9 感染予防</p> <p>10 終末期の介護</p> <p>11 緊急事故時の対応</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートとテストにより評価する。</p>	

【授業科目】介護技術Ⅲ	【担当者】土川洋子・西方規恵
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>(介護技術ⅠⅡⅢ共通)</p> <p>1 介護技術の習得に際しては、下記の2点を目標にする。</p> <p>1) それぞれの介護技術の根拠となる基本的知識を学ぶ。</p> <p>2) 利用者の自立と安全・安楽に配慮した基本的介護技術ができる。</p> <p>2 介護に適した住まい、住設備機器及び福祉用具について学ぶ。</p> <p>3 介護過程の展開方法について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>新版 介護福祉士養成講座「介護技術」Ⅰ・Ⅱ 中央法規出版</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 体温・脈拍・呼吸・血圧の測定法</p> <p>2 介護過程の展開</p> <p>1) ケアマネジメントとケアプラン</p> <p>2) ケアプランと介護過程</p> <p>3) 例に基づく介護過程の展開</p> <p style="padding-left: 2em;">アセスメント、介護計画の作成、実施、評価</p> <p>3 記録のとり方と報告のしかた</p> <p>1) 記録の種類と方法、保管</p> <p>2) 報告のしかた</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートとテストにより評価する。</p>	

【授業科目】 形態別介護技術 I (老人)	【担当者】 奥津 竹子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 加齢による身体的・精神的変化を理解する。</li> <li>2 人間の成長過程をそれぞれの世代に応じた特徴をつかみ高齢期の現状を知る。</li> <li>3 社会的・経済的状況を把握し、高齢者の生活を総合的にとらえる。</li> <li>4 高齢者の尊厳を守り、自己決定を尊重する。人生の先輩である高齢者から学ぶ。</li> <li>5 高齢者の自立支援に向けての技術を習得する。</li> <li>6 加齢にともなう機能低下による生活障害、疾病からくる障害などを科学的に理解し、援助技法を学ぶ。</li> <li>7 多くの高齢者が将来に不安をもって生活している。生きがいのある豊かな老後生活を共につくっていく援助を考える。</li> </ol>	
【テキスト】 形態別介護技術 中央法規出版	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ジョン・P・スローン著 藤沼康樹訳「プライマリケア老年医学」プリメド社</li> <li>2 窪田暁子「小春日和の午後 ケアの思想を読む」ドメス出版</li> <li>3 カルドマ 木村哲子「アルツハイマーよ、こんにちは」誠信書房</li> </ol>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学生の身近な高齢者から、生き立ちより現在までの生活史の聴き取りを行い高齢者像を具体的に理解する。</li> <li>2 まとめられた事例から学び、介護場面を通して高齢者の介護を学ぶ。様々な障害や疾病により、介護・介助を必要としている高齢者の生活支援（自立支援）の技術を習得する。</li> <li>3 入所施設、通所施設・在宅など介護現場で事例を通して介護技術の実際を学ぶ。</li> <li>4 具体的介護をすすめるための福祉制度、社会資源（フォーマル、インフォーマル）、連携する専門職集団について理解し、高齢者へのネットワークづくりを学ぶ。</li> <li>5 社会参加し、孤独な高齢者を無くし、地域で支え合い、充実した積極的な生き方ができる環境づくりをすすめる。</li> </ol>	
【評価方法】 出席数、レポート及びテストにて行う	

【授業科目】形態別介護技術II(肢体不自由・内部障害)	【担当者】 石戸 孝子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肢体不自由・内部障害に関する医学的基礎知識を習得する。</li> <li>2. 肢体不自由者（児）・内部障害者の生活・心理を理解する。</li> <li>3. 肢体不自由者（児）・内部障害者に対する日常生活上の介助・介護方法を体系的に理解する</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキスト 障害形態別介護技術 （中央法規出版株式会社）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考書、資料、ビデオなどを講義の中で随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肢体不自由・内部障害を起こす原因、疾患、障害の状態の理解と合併障害の把握</li> <li>2. 肢体不自由者（児）・内部障害者の生活障害の特徴</li> <li>3. 障害を持つ人々の心理や行動特徴</li> <li>4. 肢体不自由者（児）・内部障害者のニーズにあった介護技術とQOL向上をめざした生活支援の方法</li> <li>5. 介護に必要な福祉用具の知識と活用方法</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート・筆記試験にて評価する</p>	

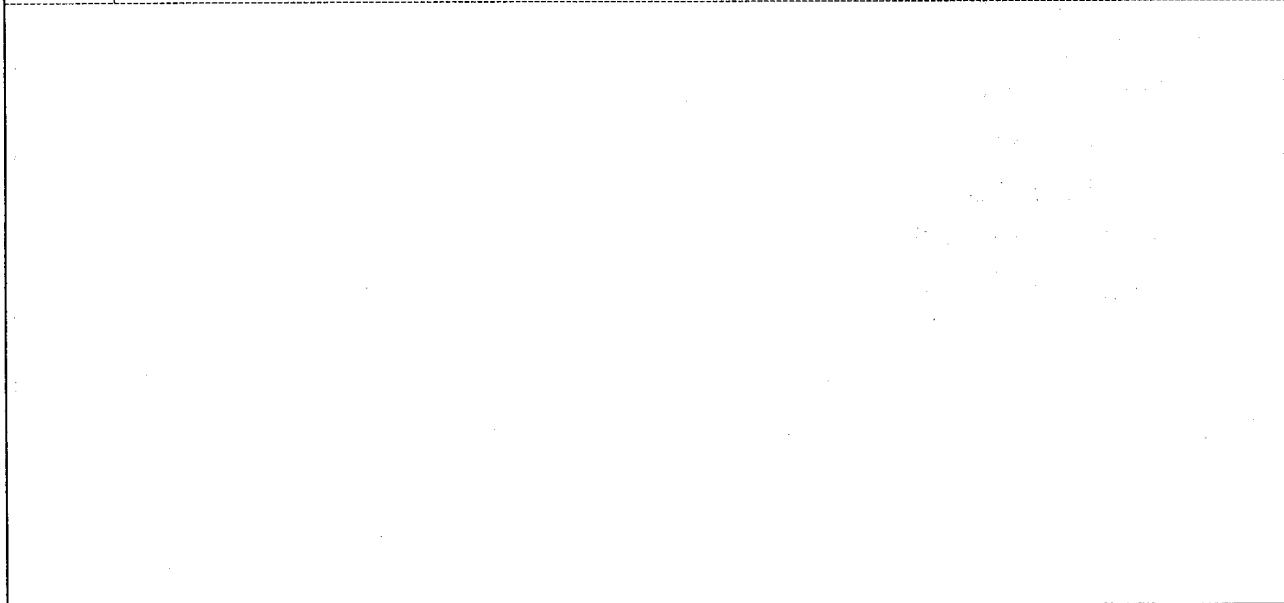
【授業科目】形態別介護技術Ⅴ（聴覚障害）	【担当者】 奥田 啓子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聴覚障害に関する医学的基礎知識を理解する。</li> <li>2. 残存感覚機能を理解し、福祉機器の活用法を習得するとともに、音声言語に代わるコミュニケーション方法について理解する。</li> <li>3. 聴覚障害者の生活・心理に配慮した介護のあり方を考える。</li> <li>4. ろう重複障害者に対する介護・援助について考える。</li> </ol>	
【テキスト】 『手にことばを』（初級） 東京都聴覚障害者連盟 発行	
<p>-----</p> <p>【参考書】 『わたしたちの手話』（1） 全日本ろうあ連盟 発行 その他、講義の中で随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>* 講義</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聴覚障害の原因・種類・程度と聴覚障害者の日常生活</li> <li>2. 聴覚障害者のコミュニケーション方法</li> <li>3. 残存感覚機能を活用するための福祉機器について</li> <li>4. 聴覚障害者と社会生活・・・バリアフリーについて考える</li> <li>5. 介護上の諸問題への理解と対応（ビデオ等を参考にして具体的な事例について考える）</li> </ol> <p>* 手話実技</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手話の基礎単語・数字の表現と指文字の習得</li> <li>2. 自己紹介</li> <li>3. 簡単な日常会話</li> <li>4. 介護場面で想定される会話の手話表現練習</li> </ol> <p>*聴覚障害に起因する日常生活・社会生活上の様々なバリアについて理解して欲しい。また、障害者を取り巻く社会状況にも広く目を向け、介護の問題と結びつけて考えていく力を身につけるよう期待する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点と筆記試験によって評価する。</p>	

【担当科目】 介護実習 I	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・新井幸恵・落海文子 鷹野直子
【開講期】	1 年 後 期
<p>【授業 目標】</p> <p>介護実習第 I 期</p> <p>(1) 利用者が施設を利用することになった経過や現在の生活状況を把握し、個別的な介護がどのように行われているかを知る。</p> <p>(2) 施設における介護職員の役割を理解し基礎的な介護技術を習得する。</p> <p>(3) 施設の概要を理解し、施設職員の職種と業務内容を知る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>実習要項他</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>実 習 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設の沿革、方針、建物の構造、業務内容、職員の勤務体制、職員構成、サービス内容、などについて理解する。</li> <li>2. 介護者の視点と援助方法を把握し、施設職員にふさわしい態度を身につける。</li> <li>3. 利用者について理解する。</li> <li>4. 利用者とのコミュニケーションの方法を習得する。</li> <li>5. ボディランゲージなどの非言語的コミュニケーションの有効な活用方法を習得する。</li> <li>6. 日常生活の介護・援助方法を習得する。</li> <li>7. 学生自身が見聞あるいは体験した介護技術の目的と意義を理解する。</li> </ol> <p>実習期間 平成15年11月4日から22日までの15日間</p> <p>実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p>	
<p>【評価方法】 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。</p>	

【担当科目】 介護実習 II	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・新井幸恵・落海文子・鷹野直子
【開講期】	1 年 後 期
<b>【授業 目標】</b> 介護実習第Ⅱ期 (1) 利用者の障害のレベルと内容に応じた介護技術を習得する。 (2) 施設における他職種の業務の実際について学び連携の意義と方法を知る。 (3) 地域社会における施設の役割を理解し在宅福祉サービスの各事業とその機能について学ぶ。 (4) 受け持ち利用者を選定しアセスメント(情報収集と介護上の課題の明確化)ができる。	
<b>【テキスト】</b> <p style="text-align: center;">実習要項他</p>	
<b>【参考書】</b>	
実 習 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設の沿革、方針、建物の構造、業務内容、職員の勤務体制、職員構成、サービス内容、などについて理解する。</li> <li>2. 利用者の障害に応じた個別的な介護技術を習得する。</li> <li>3. 他職種との連携方法を学ぶ 生活指導員、医師、看護婦、栄養士、調理師、理学療法士、作業療法士、の業務を学び、職種による専門性と役割を理解する。 また介護職員との連携の意義と方法を学ぶ。</li> <li>4. 地域における施設の役割を理解する。 1) ショートステイ、デイサービス、入浴サービス、在宅介護支援センターなどの機能について学ぶ。</li> <li>5. 受け持ち利用者のアセスメントの方法を学ぶ。 1) 実習終了までに実習指導者の助言を得て受け持ち利用者の情報収集をする。 2) 受け持ち利用者の介護上の課題を把握する。 その際には利用者の持つ力を引き出し強めるような援助の視点を修得する。</li> <li>6. ケア会議に参加し利用者のケアプランが作成評価される過程を学ぶ。</li> <li>7. 行事・レクリエーション活動への参加 行事レクリエーション活動に参加し、企画・実施・評価のプロセスを学ぶ。</li> </ol> <p>実習期間 平成16年2月16日から3月6日までの15日間          実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p>	
<b>【評価方法】</b> 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。	

【担当科目】 実習指導 I	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・新井幸恵・落海文子・鷹野直子
【開講期】	1 年 後 期
<b>【授業 目標】</b> (1) 介護実習第 I 期に向けて介護の知識・技術を深め介護福祉士としての自己覚知を深める。 (2) 介護実習の意義と目的について理解する。 (3) 実習事前・事後学習を通じて実習に必要な知識・技術、態度を身につける。 (4) 介護過程の学習を深め介護実習第 II 期の学習課題を理解する。	
<b>【テキスト】</b> 実習要項他	
<b>【参考書】</b>	
授 業 計 画	
<p>&lt;実習前準備&gt;</p> <p>配属施設の決定 (7月)</p> <p>1. 介護実習第 I 期に向けての準備 (9月より)</p> <p>1) 実習前のオリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習目的の理解</li> <li>・学生の自己学習目標をたてる。個別あるいは集団指導を行う。</li> </ul> <p>2) 実習の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守秘義務、実習生としての態度、対人援助技術を身につける。</li> <li>・見学実習の意義を理解する。</li> </ul> <p>3) 事前学習、事前オリエンテーション</p> <p>4) 実習記録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の意義と書き方</li> <li>・記録の取扱い方</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 第 I 期介護実習 (11月4日～11月22日まで) —</p> <p>&lt;実習後&gt;</p> <p>3. 第 I 期実習後のスーパービジョン</p> <p>1) グループスーパービジョン</p> <p>2) 記録の評価</p> <p>3) 実習のまとめ 自己評価 記録を整理し実習施設へ送付する。</p> <p>4) 個別面接 評価</p> <p>4. 第 II 期実習に向けての準備</p> <p>1) 配属施設の決定 (12月)</p> <p>2) 介護過程 (介護計画の立案、実施、評価) についての学習</p> <p>3) 個別面接</p> <p style="text-align: center;">— 第 II 期介護実習平成16年2月16日 (月) — 3月6日 (金)</p> <p>第 II 期実習反省会 実習後のスーパービジョン (3月10日)</p> <p>1) グループ討議</p> <p>2) 実習のまとめ 記録類の整理・実習施設へ送付する。</p>	
<b>【評価方法】</b> 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。	



【担当科目】 福祉研究入門	【担当者】 関谷 榮子、明渡 陽子、 山路 憲夫、西方 規恵、土川 洋子
【開講期】 1 年 前 期	
【授業 目標】 1. 福祉研究に対する関心を深め初歩的な研究的態度を学ぶ。 2. 文献抄読、文献研究に関する初歩的な方法を理解する。 3. 小グループのディスカッションを体験して、人の意見を傾聴し、自分の考えをまとめる方法を学ぶ。	
【テキスト】 1. 小山内美智子『あなたは私の手になれますか』中央法規出版¥1500 2. 阿部初枝『たまゆらの－老人の性を考える－』日本看護協会出版会¥1500 3. 永六輔『大往生』岩波新書¥700	
【参考書】	
授 業 計 画	
授業の初日にオリエンテーションを行う。	
4/8	グループの発表と自己紹介を行う。『あなたは私の手になれますか?』の紹介、ビデオ鑑賞
4/15	第1回 『あなたは私の手になれますか?』第Ⅰ章
4/23	<新入生オリエンテーションセミナー>に全員出席すること。
5/6	第2回 『あなたは私の手になれますか?』第Ⅱ章
5/13	第3回 『あなたは私の手になれますか?』第Ⅲ章
5/20	第4回 『あなたは私の手になれますか?』第Ⅳ章
5/27	第5回 『－たまゆらの－老人の性を考える－』1-42ページ
6/3	第6回 『－たまゆらの－老人の性を考える－』43-87ページ
6/10	第7回 『－たまゆらの－老人の性を考える－』88-134ページ
6/17	第8回 『－たまゆらの－老人の性を考える－』135-188ページ
6/24	第9回 大往生
7/1	第10回 大往生
7/8	第11回 大往生
7/15	第12回 介護実習第Ⅰ期オリエンテーション
実習施設の配属先発表	
	
【評価方法】 出席点、 レポート・その他により評価する。	

【授業科目】 家族福祉論	【担当者】 斉藤弘子
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代家族は少子高齢化問題を抱え、社会福祉とのかかわり抜きでは考えられません。 この授業では、少子高齢化社会のなかでの児童、障害者、高齢者の実態を探り、社会福祉と家族・家庭のあり方を探って行きたいと考えています。</p>	
【テキスト】 授業中に、随時、参考資料プリントを配布します。	
----- 【参考書】 必要に応じて授業中に紹介します。	
授 業 計 画	
<p>1, ガイダンス  2, 子どもを取り巻く状況について  3, 子どもと家族  4, 子育てと社会福祉  5, 障害者を取り巻く状況について  6, 障害者と家族  7, 障害者と社会福祉  8, 高齢者を取り巻く状況について  9, 高齢者と家族  10, 高齢者と社会福祉  11, 社会福祉の体制  12, 社会福祉と家族・家庭  13, 地域社会での支援体制  14, 地域社会と家族・家庭  15, まとめ</p> <p>【評価方法】 平常点（授業中の小レポートを含む）および学期末のレポートによる</p>	

【授業科目】 カウンセリング	【担当者】 林 潔
【開講期】 福祉援助学科1年前期	
<b>【授業目標】</b> カウンセリングの基礎について紹介します。	
<b>【テキスト】</b> なし	
<b>【参考書】</b> 随時紹介します。	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>           カウンセリングは基本的には話し合い療法です。ただ助言をするということだけではありません。それでは話をすることによって、どんな意味があるのでしょうか。            今日のカウンセリングの基礎として、ロジャースの来談者中心カウンセリングと日常生活にも活用できる認知行動療法のきそについて紹介します。         </p> <p> <b>基本的内容</b> </p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 話をすることによってどういう意味があるの</li> <li>2. カウンセリング・心理療法の流れ</li> <li>3. VTR カウンセリングの進め方</li> <li>4. なぜ人は不適応になるのか(ロジャースのモデル) 1</li> <li>5. 同 2</li> <li>6. 考えることの持つ意味</li> <li>7. 現実的な見方をしているだろうか</li> <li>8. 認知行動療法の方法 1</li> <li>9. 2</li> <li>10. ストレスと健康</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> 平常点、指定図書のリポート、期末試験で評価します。	

【授業科目】発達心理学	【担当者】堀江まゆみ
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の発達に関する基礎的な知識について学び、老いにいたる過程を含めて生涯発達の視点から理解を深める</li> <li>2. 子どもや老人の発達・生活を支援するために、周囲の支援者が果たす役割について考える</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業の中で提示する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達とは何か？ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達の捉え方と発達過程・課題</li> <li>・ 生涯発達と、発達のメカニズム</li> <li>・ 発達をはぐくむものと阻害するもの</li> </ul> </li> <li>2. 発達のプロセス <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳・幼児期の発達とその特徴</li> <li>・ 児童期の発達とその特徴</li> <li>・ 青年期の発達とその特徴</li> <li>・ 老年期の発達とその特徴</li> </ul> </li> <li>3. 生涯発達で注目する発達課題について考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期：人とかわりを豊かにするもの－対人関係とコミュニケーションの発達</li> <li>・ 児童期・青年期：自分らしさをつくるもの－自己の発達と人格－</li> <li>・ 老年期：人生の選択と決定を支えるもの</li> </ul> </li> <li>4. まとめ</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験（持ち込み不可）、出席点</p>	

【授業科目】 遊びの造形	【担当者】 枝常 弘
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. まず自分自身の造形活動への興味と関心を深める。</li> <li>2. 表現としての造形力に自信を失った生徒にも興味と関心を持たせる。</li> <li>3. 必要とされる道具と材料に慣れ、親しみ、技術への自信を持たせ習得させる。</li> <li>4. 高齢者の心を理解し、環境に役立ち、遊びに役立つものを考える力をつける。</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業の中でプリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定するものはないが、活動内容によって参考にする本を示唆する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>実技製作を中心に授業を進め、机を囲んだグループの友達の作品を見ることで、お互いに刺激を与え合えるような机の配置にする。</p> <p>道具を使う技術は知識よりも経験が物を言うので、まずいろいろなテーマを与えて慣れさせながら、認識を深める。</p> <p>その1. 「道具類」 はさみ、カッターナイフ、カッターマット、ものさし、のり、テープ類、ホッチキス</p> <p>その2. 「材料類」 画用紙類、おりがみ、上質紙、ボール紙、ダンボール紙、空き箱、プラスチック類</p> <p>その3. 「描画材」 鉛筆、色鉛筆、クレヨン、クーピーペンシル、水性、油性のマーカー、水彩絵の具</p> <p>テーマ ① 飾り文字で名札作り ② ペーパークラフトのうさぎとその仲間 ③ 切り紙で花、星、雪を作る ④ 絵の具で紅葉を表現する ⑤ さいころを作ってゲームを考える ⑥ プレゼントカードの製作をする     切り込む（90度開き）     立たせる（180度開き）     開くドアなど変化するもの</p> <p>最後に、社会と直接結びつけ、生徒の意欲と責任感を増すために、授業で得た技術を活かした「お誕生カード」を作り、施設の高齢者の方々にプレゼントをする。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>プレゼントカードの提出と、その他の作品をA4サイズのファイルで提出。 整理の仕方と作品とをあわせ見て、技術よりも意欲を評価する。</p>	

【授業科目】 シニアの音楽とダンス	【担当者】 秋山治子・有川いずみ
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>《秋山》 音楽のある生活を、心やすらげる空間と時間に作り上げて、高齢者に提供することを考え、工夫する。そのための音楽性、音楽する力等を養うために音楽療法的なセッションを実際に行ってみたり映像を観る等して学習していく。授業の方法は昔の歌や高齢者がよく歌っていた曲などを知るために歌ったり、楽器を使ったやさしい遊びを考えたりする。</p> <p>《有川》 本来人間は、自由な身体の動きを持っている。その動きをみつける作業を通して、言葉を越えた身体と身体のコミュニケーションを体験し、さまざまな状況にある人たちと踊る楽しさ・表現する喜びを共有できる方法を探究する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《秋山》 「キラッと歌って」秋山治子 高林真理共著 共同音楽出版社  [参考書] 「高齢者の音楽療法」貫 行子著 音楽之友社</p> <p>《有川》 特になし</p>	
授 業 計 画	
<p>《秋山》</p> <p>①授業の概要の説明  高齢者に人気の“昔のうた”を歌う</p> <p>②歌の中の歌詞を、普段私たちはどの程度理解しているのか、について考え、実際に試してみる。</p> <p>③前回と同様に、高齢者に人気の歌を歌う(CDに収録されている曲があるときはそれを聴いてイメージなどを出し合いながら進めていく)。</p> <p>④療育音楽等のビデオを観て、様々な障害を持つ高齢者が楽器を楽しむことについて話し合う</p> <p>⑤学生自らも色々な楽器に親しむことを経験する</p> <p>⑥大正琴他色々な打楽器などと歌や楽曲とを結び合わせて楽しみ方を考案する</p> <p>⑦音楽をまじえたセッションを工夫し、発表する。</p> <p>⑧同 上</p> <p>《有川》</p> <p>(1) 身体で表現する事の意味と意義  ・日常生活で見られる身体表現とダンス  ・一人一人の充実した生につながる身体表現とダンス</p> <p>(2) ダンスプログラムの実践  ・リズムカルに身体を動かす  ・グループでダンスを楽しむ  ・道具を使って踊る  ・即興でイメージを表す  ・作品づくり</p> <p>(3) 感性や創造性を分かちあう援助</p>	
<p>[評価]</p> <p>《秋山》 ①出席状況、②レポート</p> <p>《有川》 (1)授業に対する取り組み方・出席 (2)授業中に行う実技試験(技術点ではありません)と平常点</p>	

教養教育科目（2年）





【授業科目】 ヒューマニズム論	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">「ヒューマニズムは間違っている！」と言う人は多くはないが、 では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。</p> <p>「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は、「世間的通念」に流されているだけなのではないか。「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に我々の「支え」になりうるのか。つまり、「現代におけるヒューマニズム」は、可能なのか。</p> <p>「ヒューマニズムの精神」は、白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されなければならない。</p> <p>本講では、上記のような問題意識のもと、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点として、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか、何に抗って「人間を大切にする」のか</u>、というアクティブな問題に迫っていきたいと思っている。大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
----- 【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「根源的に問う」こと</li> <li>② 「自己」と「世界」</li> <li>③ 何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」</li> </ol> </li> <li>2 我々の状況——近代における「人間」の問題       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 近代と前近代——「人間」の問題として</li> <li>② 「神・超越性」と近代人</li> <li>③ 近代的「人間」観と、その問題点</li> <li>④ 「近代ヒューマニズム思想」について</li> <li>⑤ 何に抗って「人間を大切に」するのか</li> </ol> </li> <li>3 現代の状況と人間       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「国家」と人間</li> <li>② 「資本」と人間</li> </ol> </li> </ol> <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、最初はメモの要点も指示しながら進める。大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。	

【授業科目】総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】東・中島・佐々
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東：人間とことば。</p> <p>中島：文学作品を通して、言語が人と人との関係をどのように作り出しているかを見る。</p> <p>佐々：生活の中で生きていく言語を扱い、その方向を探れるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>東・中島：プリントを使用　佐々：使用しない。適宜プリントを配布する</p>	
<p>【参考書】東・中島：授業中に紹介する</p> <p>佐々：筆者の著書『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』ほか</p>	
授　業　計　画	
<p>東→中島→佐々　の順で授業する。</p> <p>東：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人類の起源と言葉の創造</li> <li>(2) ことばの役割</li> <li>(3) ことばの功罪</li> <li>(4) 「場」の民主性と言語表現</li> </ol> <p>中島：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 『ジョイ・ラック・クラブ』に見る、世代間の言語と言語間の強弱</li> <li>(2) 欲望と権力：『ソフィーの選択』（アウシュヴィッツ）</li> <li>(3) 沈黙と歴史：『ピラヴド』（アメリカ黒人奴隷制）</li> <li>(4) まとめとして：作家の言語（『月と六ペンス』）</li> </ol> <p>佐々：計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ことばの正体を探る</li> <li>(2) 見えないことばを読む</li> <li>(3) ことばを育てる筋道を考える</li> <li>(4) ことばを育むプログラムの検討</li> </ol>	
<p>【評価方法】東：ペーパーテスト（60分）実施（参照可）。</p> <p>中島：出席点とレポート</p> <p>佐々：平常点の重視、レポートによる評価</p>	

【授業科目】総合科目 生命	【担当者】柳下登・近藤正樹・明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。</p> <p>20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登：プリントを使用  近藤正樹  明渡陽子：プリントを使用</p>	
<p>【参考書】</p> <p>柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社）</p> <p>近藤正樹  明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命とはなにか：明渡陽子</li> <li>2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登</li> <li>3. 地球生物と進化：柳下登</li> <li>4. 地球生物と環境：近藤正樹</li> <li>5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹</li> <li>6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子</li> <li>7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか。（それぞれの専門分野から）  柳下登  近藤正樹  明渡陽子</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登：出席状況と筆記テスト  近藤正樹  明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>戦争と平和の問題を通じてヒューマニズムについて考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、一昨年9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、その解決に向けての方法は適切であったのかを検討してみることは重要なてがかりとなるだろう。また、現在緊張が高まっているイラクや朝鮮民主主義人民共和国情勢（2003年1月時点）についても、そのような事態に立ち至った原因と今後の行方について検証することも有効だろう。</p> <p>そうした時、現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題としてとらえる視点は有効ではないだろうか。これらを具体的に検討してみたい。</p> <p>戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇同時多発テロは何故起きたか－歴史的経過を探る意味</li> <li>◇報復戦争の意味するもの－テロへの対応は「戦争」か</li> <li>◇「悪の枢軸」というレッテルが意味するもの－アメリカの世界戦略</li> <li>◇現代の戦争、地域紛争とその原因－民族、宗教、「文明の対立」を検討する</li> <li>◇国民国家形成とナショナリズム－フランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合</li> <li>◇近代の平和思想の歴史－『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜</li> <li>◇不戦への挑戦、その可能性は－日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える</li> <li>◇構造的暴力の問題－貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造</li> <li>◇平和への課題－人権・福祉そして平和</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

<p>【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ (消費社会と欲望)</p>	<p>【担当者】 大岡 聡</p>
<p>【開講期】1年前期</p>	
<p>【授業目標】 「最新のファッションに身を包むととても気分がいい!」「人が持っていないバッグをもっているとなんだか鼻が高いなあ」「ちょっと食べ過ぎちゃった、ダイエットしなきゃ」「バーゲンで洋服買い過ぎちゃったので、お昼はマクドの59円バーガーで我慢しよう」・・・これらは「豊かな」日本社会に暮らす私たちの日常の一コマ。でも「何だか変だ」と思うことはないですか? 「豊かな」モノとひきかえに何か失っていませんか? モノに振り回されていませんか? 「豊かな」私たちの一方で、飢えた人もいるのはなぜ? 「地球にやさしい」暮らし方ってなんだろう? この講義を通じて消費社会といわれる現代の、私たちのくらしと社会を反省的に考察してみましょう。</p>	
<p>【テキスト】 テキストは用いません。毎回プリントを配ります。</p>	
<p>【参考書】 とりあえず、辻信一『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社)、大平健『豊かさの精神病理』(岩波書店)、エリック・シュローサー『ファーストフードが世界を食い尽くす』(草思社)、島村志津『スローフードな人生』(新潮社)は入門書としてオススメです。手にとって気に入ったものを1冊以上読んでみて下さい。 もっと深く勉強したいひとは、上野千鶴子『&lt;私&gt;探しゲーム』(筑摩書房)、見田宗介『現代社会の理論』(岩波新書)、ナオミ・クライン『ブランドなんか、いらない』(はまの出版)、ジュリエット・B・ショア『浪費するアメリカ人—なぜ要らないものまで欲しがるか』(岩波書店)、スーザン・ジョージ『なぜ世界の半分が飢えるのか』(朝日新聞社)、山本武利・西沢保編『百貨店の文化史』(世界思想社)をお薦めしておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>講義では、まず日本における消費社会の形成過程(消費社会化の歴史)をたどるなかで、現代消費社会を相対化する歴史的視点と、消費社会を考察する基本的視点の獲得を目指します。それに続き現代消費社会の問題点を考察し、あるべき消費社会とかしい消費者像を展望します。 構成は以下の通り。</p> <p>オリエンテーション・イントロダクション  (1)リサイクル社会としての江戸  (2)身分制の解体と文明開化  (3)百貨店の誕生①—小売業の革新  (4)百貨店の誕生②—消費社会の演出者  (5)近代家族と文化生活—消費の主体  (6)生存から生活へ  (7)美と健康—消費と身体  (8)戦争と生活  (9)高度成長と大衆消費社会の確立  (10)現代消費社会と人間—さまざまな問題点  (11)消費社会と世界—なぜ世界の半分は飢えるのか?  (12)かしい消費者になろう!—消費社会の彼方へ</p> <p>プリントのほかビデオモニターなども使用します。  毎回コメントカードに、講義の感想や自分の意見を書いてを提出してください。その一部は次の講義で紹介することがあります。</p>	
<p>【評価方法】  毎回コメントカードを提出してください(出欠を兼ねます)。  学期末にレポートを提出してもらいます。出欠状況とレポートの成績により総合的に評価します。</p>	

<b>【授業科目】</b> 現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)	<b>【担当者】</b> 柳下登・明渡陽子
<b>【開講期】</b> 前期	
<b>【授業目標】</b> 高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。	
<b>【テキスト】</b> 柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用	
<b>【参考書】</b> 柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね E. ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。	
授 業 計 画	
以下のテーマに沿って行う予定。  1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ	
<b>【評価方法】</b> 柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト	

【授業科目】 人物研究Ⅰ（和泉式部）	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。  和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪の乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。  時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
【テキスト】 プリントを配布	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館  増田繁夫著 『冥き途一和泉式部伝一』世界文化社  清水好子著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社  久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 悪女の評判さまざま  すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。</li> <li>2, 実人生を辿る  少女期の環境  最初の結婚と破綻  冷泉皇子兄弟との恋愛と死別  後宮出仕  再婚  娘との死別</li> <li>3, 実体験から和歌表現へ</li> <li>4, 恋歌と死の歌のあわい  恋歌を超える眼差し</li> <li>5, 実存のテーマと方法・  和歌の時空  「自己客体視」の方法  連作の方法</li> <li>6, 歌集と日記</li> <li>7, 仏教的心性の問題</li> <li>8, 和泉式部和歌の評価をめぐる問題</li> </ol> <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ・「柳田国男」

【担当者】東 喜 望

【開講期】1・2年後期

【授業目標】柳田(旧姓・松岡)国男(明治8年—昭和37年)は、貧しい医師の子として兵庫県神崎郡福崎町で生まれた。大学を卒業してのち彼は、それまで問題にもされなかった民衆の生活とその文化を調査・研究し日本民俗学の基礎礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。

【テキスト】資料プリント集を配布する。スライド・ビデオ上映。

【参考書】牧田茂『柳田国男』(中公新書)・中村哲『柳田国男の思想』(法政大学出版局)  
谷川健一『柳田国男の民俗学』(岩波新書)・鹿野政直『近代日本の民間学』(岩波新書)

### 授 業 計 画

#### 講義の概要

##### 1. 生いたち

- ・「日本一小さい家」-----松岡家の一つの不幸。
- ・利根川畔・布川徳満寺絵馬の衝撃。-----濟世救民の志。

##### 2. 就学と詩人松岡国男

- ・伊良湖山甲への旅と島崎藤村「椰子の実」

##### 3. 民俗学の夜明け

- ・農政学から民俗学へ——『後狩詞記』・『遠野物語』

##### 4. 官界から言論界へ

- ・旅と学問——大正デモクラシーと民衆文化の発掘

##### 5. 日本民俗学の石確立

- ・『海上の道』——壮大なる仮説——日本民族の南方起源説

##### 6. まとめ——柳田の学問と思想は「近代」を超えることができるか。

【評価方法】定期試験時の筆記試験による。(配布プリント集・ノート・参考書等参照可)



【授業科目】 人物研究Ⅲ（有島武郎）	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎（ありしまたけお、1878-1923）という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見詰め、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見つめ「新たな人間らしい文明」を求めつづけた有島。ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺（心中）＝挫折（玉砕）」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
<p>【参考書】 高原二郎著『人と作品・有島武郎』清水書院 刊 栗田廣美著『死と飛躍・有島武郎の青春』右文（ゆうぶん）書院 刊 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』右文（ゆうぶん）書院 刊 ——本学図書館に何冊か置いてもらう予定。近所の公立図書館にも、どしどし「リクエスト」しよう！</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生い立ちと、札幌での青春       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。</li> <li>② 「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信</li> <li>③ 「家」と「国家」——反抗と訣別</li> </ol> </li> <li>2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「アメリカ＝巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧</li> <li>② キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成</li> <li>③ 中世ヨーロッパと「自由なコンミュニオン」への憧れ</li> </ol> </li> <li>3 日本での闘いと挫折       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 芸術・思想・革命・自由</li> <li>② 農場解放の理想と現実</li> <li>③ 恋愛と死</li> </ol> </li> </ol> <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大切なことは「知識」や「結論」ではない。興味を持つこと、考えること。有島を通して、諸君の中に「人間」への問題意識を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。しっかりノートをとって、講義を聴いていけば大丈夫。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学入門Ⅰ	【担当者】 心理学科専任教員
【開講期】 1年前期	
<b>【授業目標】</b> 心理学という学問の歩みやそれぞれの分野でのトピックを通して、人間を心理学的な視点から見る態度を養います。	
<b>【テキスト】</b> <b>【参考書】</b> 個々の授業の中で紹介します。	
<b>授 業 計 画</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学の歴史と基本的立場-----金子</li> <li>2. 知覚心理学-----金子</li> <li>3. 実験心理学-----多喜乃</li> <li>4. 学習心理学-----荻野</li> <li>5. 発達心理学(青年心理学)-----林</li> <li>6. 人格心理学-----金</li> <li>7. 臨床心理学-----林</li> <li>8. 健康心理学-----金</li> <li>9. 生理心理学-----多喜乃</li> <li>10. 社会心理学-----倉澤</li> <li>11. 心理学の研究法-----荻野</li> <li>12. 心理学と社会-----倉澤</li> </ol> <p>※授業の順序は多少入れ替えられることがあります。</p>	
<b>【評価方法】</b> 出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ [性格と人間関係]	【担当者】 林 潔
【開講期】 教養教育1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>サブタイトル &lt;性格について&gt;</p> <p>併せて今日の心理学の基本的な考え方について紹介します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いろいろなタイプの人がありますね。  同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。  どうしてなのでしょうか。  なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 経験を重視する</li> <li>(2) ものの見方を重視する</li> <li>(3) 過去の経験、特に幼児期の経験を重視する</li> </ol> </li> <li>2. 「血液型と性格」は？</li> <li>3. 今日の性格についての考え方</li> <li>4. 人間関係について考える</li> </ol> <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。  hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、指定図書レポート、期末試験で評価します。</p>	

【授業科目】 体の不思議	【担当者】 村田 務				
【開講期】 1年後期					
<p>【授業目標】</p> <p>1) 人間の身体と生命活動に対する知的探求心を喚起し、身体の特徴的なしくみと働き、外界との繋がりに関する基礎知識について理解させる。</p> <p>2) 自らの体の不思議さと巧みさを知ることによって、「生命活動の主体」として自分自身を認識する基盤を形成させる。</p>					
<p>【テキスト】 使用せず</p>					
<p>【参考書】</p> <p>菊池俊英：人間の生物学、理工学社、1976年。  香原姿勢：人類生物学入門、中公新書、1975年。  佐藤方彦：人間と気候、中公新書、1987年。  藤田紘一郎：共生の意味論、講談社ブルーバックス、1997年。  宮城重二：女性はなぜ長生きか、講談社ブルーバックス、1996年、ほか</p>					
授 業 計 画					
<p>今日、いじめや児童虐待、自殺、薬物使用、買春、売春など、他人や自分自身の生命及び健康、人権に関わる諸問題が社会的問題としてクローズアップされてきている。これら背景には様々な事柄が考えられている。その1つとして「自他の体に対する尊厳の念が希薄で、自他の体や命を大切にするという意識が薄れているのではないか」という指摘もされている。</p> <p>教科目「体の不思議」では、人間の体の仕組みと働きの理解を通して、「ヒトの体の不思議さ」や「人間のからだのすばらしさ」に触れる。そして、人間の、自分自身や他人の生命や健康、人権の大切さについて考える契機とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜゾウは水浴びをするか</li> <li>・なぜヒトは汗をかくか</li> <li>・なぜヒトは鳥肌が立つか</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜラクダは砂漠で強いのか</li> <li>・なぜヒトの体温は37℃か</li> <li>・なぜヒトは人種によって体型が違うか</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか</li> <li>・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか</li> <li>・なぜ心配事があると胃が痛むのか</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ女性は長生きか</li> <li>・なぜ男と女がいるの</li> <li>・なぜヒトは異性を求めるか</li> </ul> </td> </tr> </table>		<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜゾウは水浴びをするか</li> <li>・なぜヒトは汗をかくか</li> <li>・なぜヒトは鳥肌が立つか</li> </ul>	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜラクダは砂漠で強いのか</li> <li>・なぜヒトの体温は37℃か</li> <li>・なぜヒトは人種によって体型が違うか</li> </ul>	<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか</li> <li>・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか</li> <li>・なぜ心配事があると胃が痛むのか</li> </ul>	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ女性は長生きか</li> <li>・なぜ男と女がいるの</li> <li>・なぜヒトは異性を求めるか</li> </ul>
<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜゾウは水浴びをするか</li> <li>・なぜヒトは汗をかくか</li> <li>・なぜヒトは鳥肌が立つか</li> </ul>	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜラクダは砂漠で強いのか</li> <li>・なぜヒトの体温は37℃か</li> <li>・なぜヒトは人種によって体型が違うか</li> </ul>				
<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか</li> <li>・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか</li> <li>・なぜ心配事があると胃が痛むのか</li> </ul>	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ女性は長生きか</li> <li>・なぜ男と女がいるの</li> <li>・なぜヒトは異性を求めるか</li> </ul>				
<p>【評価方法】 平常試験（レポート又はペーパーテスト。学習意欲と出席を重視する。）</p>					

【授業科目】 生物の世界と人間	【担当者】 近藤正樹
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間は生き物（生物）の一種にすぎません。パスカル（哲学者）が言ったように「考える」ことのできる生物です。生物としての共通点とヒト（生物の一種）としての特異点を再確認した上で私たち「人間」の生き方を見直していくことを主な目標としています。その中で科学的な考え方、態度にふれて頭の使い方の練習（思考訓練）も上達するようにします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>なし</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 生物と無生物</p> <p>気体の世界、流体の世界、流体という考え方、固体と結晶、ポーリング説を展開して</p> <p>2. 生物の紀元</p> <p>①流体の中での変性、高分子化への道、solとgel、表面膜の特化</p> <p>②単純から複雑へ、未分化から分化へ、発達と退化</p> <p>3. 生物の種類と分類</p> <p>分類すること、系統分類法、世界共通の名称（学名）世界で繁栄した生物とその原因</p> <p>4. 個体維持と種族維持</p> <p>5. 集団（個体群）としての人間集団</p> <p>6. 集団（群集）の中の人間の位置と役割</p> <p>7. 昆虫の社会と高等動物の社会</p> <p>8. 動物の社会と人間の社会</p> <p>9. 「考える」動物としての長所と限界</p> <p>10. 人間はこれから何を努力しなければならないか</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと定期試験</p>	

<b>【授業科目】</b> 人間と環境	<b>【担当者】</b> 吉川 研二
<b>【開講期】</b>	
<b>【授業目標】</b> 35億年前の海の中で最初の原始生物が誕生したといわれている。以後、地球環境の全体システムは、様々な生物と密接に関係しながらいく度かの大変革を経て現在の姿を作りあげてきた。私たち人間を含めた地球上のあらゆる生物は、周囲の大気や水や土壌といった環境と微妙な均衡を保ちながら生活しているのである。 様々な環境汚染、自然破壊、種の消滅などは、このシステム全体の単純化につながり、ヒトの生存をも危うくする。私たちひとりひとりの生活のあり方が問われている。	
<b>【テキスト】</b> プリントなど	
<b>【参考書】</b> 授業中に適宜紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宇宙の中の地球            宇宙のこと 銀河系のこと 太陽系のこと そして地球</li> <li>2. 地球環境の変遷            原始地球の姿 生命の誕生 生物の進化と地球環境</li> <li>3. 地球環境系と生命            生命を育む天体地球 地球を作る物質 太陽エネルギー            大気の働き 水の働き 二酸化炭素やオゾンなど化学物質の働き</li> <li>4. 生態系の構造と機能            生態系とは 非生物的要素と生物の群集            物質の循環とエネルギーの流れ</li> <li>5. 地球環境悪化と生態系            地球温暖化 温室効果ガス・温暖化の影響            森林の現象 熱帯雨林の破壊と生物の多様性の崩壊            様々な人工化学物質の氾濫 環境ホルモン            水の汚染・大気の汚染・土壌の汚染            オゾン層の破壊 紫外線と生物</li> <li>6. 生活の中の環境問題            資源 消費 廃棄            自然生態系でのリサイクル 人工生態系でのリサイクル</li> <li>7. ふたつのエコ 環境倫理</li> </ol>	
<b>【評価方法】</b> 平常点＋筆記試験	

【授業科目】生と死を考える	【担当者】嶋根 久子
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】人は死に直面した時、生きているという実感を一層強くもつと言われている。しかしながら、核家族化が進行する中で、寿命が飛躍的に延び、加えて病院で死を迎える昨今、我々は死を体験する機会が非常に減少している。従って、この講義では、人のもつ「追体験」という能力をフルに活用して、より充実した生を目指して、様々な角度から、死について考えてみたいと思います。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】『死の社会学』副田義也編、岩波書店、『死ぬ瞬間』キュープラ・ロス、読売新聞社、『生と死を考える』アルフォンス・デーケン、春秋社など。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 死の諸相  ①病死②事故死③災害における死④自死⑤自然死</p> <p>(2) 家族と看護、あるいは死の看取り  ①死の諸相による家族の影響②子供の死③親の死④高齢者の死⑤配偶者の死</p> <p>(3) 死者の年齢別に見た、残された家族の問題  ①配偶者の死②子供の死③親の死</p> <p>(4) 死の受容の諸形態  ①死にゆく人②残された家族</p> <p>以上のことを主なテーマとするが、その際、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進める。</p>	
<p>【評価方法】評価はレポートとする。授業期間中に見たビデオについて、そのつどレポートを提出し、それらと最終レポートとを合わせて評価を決める。</p>	

【授業科目】	人間の生と性	【担当者】	浅井 春夫
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	性を明るく、おおらかに、そして科学的に語れる基礎的な力をつけてもらいたいと願っている。具体的には、①人間の性に関するミニマム・エッセンスを学ぶことを通して、性的自立と性的共生能力をはぐくんでいくことを大切にする。私たちが自分らしく、そしてお互いを大切に生きる上でどのような性行動を選択するかが問われているからである。②セクシュアル・マイノリティの人権の現実を学ぶ。性に関する偏見をなくしていくことは共生の重要な条件であるからである。③タイムリーな性に関する問題を討論できる場を設けたい。この時代に生きる一人ひとりの生と性を見つめ直す機会としたいからである。人間の生と性の科学的な理解と性をめぐる人間関係を真摯に学んでほしい。		
【テキスト】	浅井春夫『セクシュアル・ライツ入門』（十月舎、2000年、2500円＋税）		
【参考書】	浅井春夫・伊藤悟・村瀬幸浩共編『日本の男はどこから来て、どこへ行くのか』（十月舎、2001年、2500円＋税） 浅井春夫『子ども虐待の福祉学』（小学館、2002年、1700円＋税）		
授 業 計 画			
<p>テキストをもとに以下のような計画をたてているが、タイムリーな問題を取りあげて講義することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本授業での問題意識と授業の運営についての共通確認</li> <li>② セクシュアリティに関する基本的な用語の説明</li> <li>③ マイノリティ（ゲイ、トランス・ジェンダー、インターセックスetc）のセクシュアル・ライツ—いまも平然と行われる差別と偏見、それは性と政をめぐる問題</li> <li>④ 子どものセクシュアル・ライツの現状—わが国と世界の現実から—</li> <li>⑤ 子どもの性的発達の特徴と性をはぐくむ課題—とくに男性形成の問題を考える</li> <li>⑥ 避妊を学ぶ—妊娠と避妊のしくみ、女性用コンドーム、ピル</li> <li>⑦ 恋愛のススメ—恋愛を発展させる方法、グループ討論「こんな場合、どうする？」</li> <li>⑧ 性器の生理学—男と女の性器はもとは同じだった！性器の構造を学ぶ</li> <li>⑨ 性交の人間学—性交は人間にとって、二人の関係にとってどのような意味をもっているのか。二人の関係性を反映した性交の現実を考える</li> <li>⑩ 生殖医療の最前線（体外授精、代理母など）をめぐる討論—あなたは賛成？反対？</li> <li>⑪ エイズの政治学—その南北問題としての側面</li> <li>⑫ セクシュアリティの過去・現在・未来—性の主体者として生きるために</li> </ol>			
<p><b>キーワード</b></p> <p>セクシュアル・ライツ（性的人権）、セクシュアリティ（その人らしい性のあり方）、性の多様性、セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）、同性愛（ゲイ、レズビアン）、トランス・ジェンダー、Aセクシュアル、インターセックス、避妊、ピル</p>			
【評価方法】	定期試験		



【授業科目】生活と健康	【担当者】明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 健康の定義</li> <li>② 個人・集団の健康指標</li> <li>③ 健康成立条件（vs 疾病とは＝疾病の成り立ちと疾病予防の段階・対策など）</li> </ol> </li> <li>2. 高齢社会とわが国の健康水準</li> <li>3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> <li>①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など）</li> <li>②アレルギー疾患</li> <li>③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等）</li> </ol> </li> <li>4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> <li>① 食事</li> <li>② 運動</li> <li>③ 休養とストレス</li> <li>④ 飲酒・喫煙の健康への影響について</li> </ol> </li> <li>5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について）</li> <li>6. わが国の保健医療体制</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】教養体育（実技）テニス	【担当者】野田達也
【開講期】1年前期、2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>テニスについて学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のような技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ボール、ラケットに慣れる。</li> <li>2) フォアハンドボレー</li> <li>3) バックハンドボレー</li> <li>4) フォアハンドストローク</li> <li>5) バックハンドストローク</li> <li>6) ストロークラリー</li> <li>7) サービス、レシーブ</li> <li>8) 試合の進め方</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育(実技)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1 年前期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。</li> <li>・ 運動技能と知識の習得。</li> </ul>	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>【バドミントン】</p> <p>技能練習とゲーム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、グリップとシャトル慣れ</li> <li>2、ストロークの練習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォアハンドストローク</li> <li>・ バックハンドストローク</li> <li>・ クリアー (ハイクリアー)</li> <li>・ ドロップ</li> <li>・ ドライブ</li> <li>・ ヘアピン</li> <li>・ プッシュ</li> <li>・ スマッシュ</li> </ul> </li> <li>3、サービスの練習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロングハイサービス</li> <li>・ ショートサービス</li> </ul> </li> <li>4、集団技能の練習</li> <li>5、ゲームとルール、審判法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダブルス</li> <li>・ シングルス</li> </ul> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常点 (出席重視)</li> <li>・ 授業中に採点する。</li> </ul>	

【授業科目】 教養体育（講義）	【担当者】 岡田 光弘
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>スポーツの意義、健康・体力づくりのための基礎知識について学習していくことで「健やかに生きるための基盤」について理解を深めることを目標にする。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>AERA Mook 20号、「スポーツ学のみかた」、朝日出版社、1997年。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動・トレーニングの原理</li> <li>2 遊びと民俗スポーツ</li> <li>3 現代社会とスポーツの商業化</li> <li>4 テクノロジーの進歩とスポーツ</li> <li>5 救急法の歴史と実際</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、各授業におけるレポート</p>	

【授業科目】外国語Ⅰ（福祉援助2年）	【担当者】東郷裕
【開講期】前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>初歩の文法を中心に、やさしい英語で書かれたイギリスの情報や各種リスニング練習を通じて、総合的な英語コミュニケーション能力を養うことを目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p><i>Bridge to College English</i>（南雲堂）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講後に指定します。</p>	
授 業 計 画	
<p>簡単な内容のテープを聴いて、質問に対する正しい答えを選びます。そして、初歩の文法や語法の理解度を確認しながら、各種の問題を解きます。文法のポイントを含む70語程度のやさしい英文を読み、その内容理解の程度を問題を解くことによって確認します。学生全員が積極的に参加し、発言することを望みます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テスト、授業への取り組み（平常点）、レポートによって総合評価します。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅰ	【担当者】 長尾主税
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>あらためて基礎から英語の学習方法を考えなおしていく。  ごく基本的な知識から復習し、英語によって意志の疎通がはかれるよう訓練する。  辞典類を道具として使いこなせるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Hear It! Say It! (金星堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>訳語が載っているだけでなく、用法、例文が豊富な英和辞典、文法書等  授業中に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基本的な発音知識をまずブラッシュアップする。  ごく初歩的な文法知識を得る。</p> <p>基本動詞を中心に運用能力を高める。</p> <p>テキストを使ってリスニングと読解、リスニングと発音の関係づけを行い、自分のものとして使える言葉を着実にふやしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末の試験の成績に平常点を加味して成績評価を行う。平常点とは、各章のまとめ、担当項目の発表などについての成績をさす。ていねいな復習が必要。</p>	

【授業科目】 外国語 I (中国語)	【担当者】 陳 志華
【開講期】 前期	
【授業目標】 この授業の目標は、①中国語の発音、②中国語の日常会話、③中国語の基本文法、を身につけることである。	
【テキスト】 方如偉・王智新・鏡屋一著 『新版 中国語 10 課』白水社。	
【参考書】 必要に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<p>1、中国語の発音及び文法を基本から学習する。</p> <p>2、簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、対話する練習を積み重ねていく。</p>	
【評価方法】 平常点（出席、小テスト）と期末テストで評価する。	

【授業科目】外国語Ⅰ（フランス語）	【担当者】森佳子
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>1：フランス語の発音の美しさに親しむ</p> <p>2：名詞、冠詞、形容詞の特徴を知る</p> <p>3：基本的な動詞の使い方を知り、活用が自在にできるようにする</p> <p>4：疑問文、否定文の作り方、使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1：フランス語の発音 アルファベと綴り字記号、発音</p> <p>2：名詞 男性名詞、女性名詞、単数、複数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞</p> <p>3：形容詞 形容詞の性と数、形容詞の位置、特殊な変化をするもの、名詞の女性形と特殊な複数形、指示形容詞、所有形容詞</p> <p>4：動詞 フランス語の8つの主語、動詞 être の現在形、動詞 avoir の現在形</p> <p>5：疑問文、否定文 疑問文の作り方、否定文の作り方、前置詞 à、de と定冠詞の縮約</p> <p>6：規則動詞 er 動詞、ir 動詞、代名動詞</p> <p>7：不規則動詞 aller と venir、近い未来と近い過去、その他の不規則動詞、命令法</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、後期と総合して評価する。</p>	



【授業科目】外国語 - I (ドイツ語)	【担当者】田中 安行
【開講期】 前期	
<b>【授業目標】</b> 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 和やかな雰囲気での授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。	
<b>【テキスト】</b> 開講時に説明する。	
<b>【参考書】</b> 開講時に説明する。	
授 業 計 画	
<b>【授業計画】</b> 1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方を理解する。 4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめる、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。  <b>【授業方法】</b> 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方やドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気の中で充実した学習ができるようにする。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	

【授業科目】外国語Ⅱ（福祉援助2年）	【担当者】東郷裕
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>初歩の文法を中心に、やさしい英語で書かれたイギリスの情報や各種リスニング練習を通じて、総合的な英語コミュニケーション能力を養うことを目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p><i>Bridge to College English</i>（南雲堂）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講後に指定します。</p>	
授 業 計 画	
<p>簡単な内容のテープを聴いて、質問に対する正しい答えを選びます。そして、初歩の文法や語法の理解度を確認しながら、各種の問題を解きます。文法のポイントを含む70語程度のやさしい英文を読み、その内容理解の程度を問題を解くことによって確認します。学生全員が積極的に参加し、発言することを望みます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テスト、授業への取り組み（平常点）、レポートによって総合評価します。</p>	

【授業科目】 外国語 II	【担当者】 長尾主税
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期に読み、聴き、話し、書くことについて学んだ知識ををばらばらのまま放置せず、具体性を持たせることで有機的に結びつけ、自分の表現に生かしていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Hear It! Say It! (金星堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>訳語が載っているだけでなく、用法、例文が豊富な英和辞典、文法書等授業中に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前期に使用したテキスト、テープのほかにDVDやビデオを利用する。  すでに習得した基礎知識をもとに、映画の会話を観察し会話の成り立ちを学ぶ。  引き続き基本動詞（およびそれに付随する重要な言葉）について学び、映画で確認される表現の豊富さを自分のものにしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末の試験の成績に平常点を加味して成績評価を行う。平常点とは、各章のまとめ、担当項目の発表などについての成績をさす。ていねいな復習が必要。</p>	

【授業科目】	外国語Ⅱ(中国語)	【担当者】	陳 志華
【開講期】	後期		
【授業目標】	この授業の目標は、①中国語の基本文法の理解力、②中国語の会話能力、③中国語文章の読解力、をさらに高めることである。		
【テキスト】	方如偉・王智新・鏡屋一著 『新版 中国語10課』白水社。		
【参考書】	必要に応じて紹介する。		
授 業 計 画			
<p>1、中国語の日常会話をさらに練習し、中国語文章の読解及び簡単な文章づくりを行う。</p> <p>2、中国文化及び急激に変化している中国民衆生活の実態を学びながら、中国語の教養を深める。</p>			
【評価方法】	平常点(出席、小テスト)と 期末テストで評価する。		

【授業科目】外国語II (フランス語)	【担当者】森佳子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1: フランス語を通して、フランス文化を理解する</p> <p>2: 過去形、未来形の作り方、使い方を知る</p> <p>3: いろいろな疑問文や比較級の作り方、使い方を知り、さらに幅広い表現力をつける</p> <p>4: フランス語特有の代名詞の使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>8: 過去形 複合過去、avoir+過去分詞、être+過去分詞、代名動詞の複合過去</p> <p>9: 未来形 単純未来、前未来</p> <p>10: いろいろな疑問文 疑問副詞、疑問代名詞、疑問形容詞、非人称構文</p> <p>11: 比較 比較級、最上級</p> <p>12: 代名詞 補語人称代名詞、強勢形人称代名詞、所有代名詞、指示代名詞、中性代名詞</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、前期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】 外国語 - II (ドイツ語)	【担当者】 田中 安行
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。</li> <li>2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。</li> <li>3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。</li> <li>4. 和やかな雰囲気 of 授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。</li> </ol> <p>注： 外国語 - II (ドイツ語) は、外国語 - I (ドイツ語) 修得者又はその学力のある者が履修できる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。</li> <li>2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。</li> <li>3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。</li> <li>4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。</li> <li>5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。</li> <li>6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめる、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。</li> </ol> <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。</li> <li>2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。</li> <li>3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。</li> <li>4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料 (ビデオ・スライド・写真など) を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る</li> <li>5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。</li> <li>6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気 with 充実した学習ができるようにする。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】海外語学研修	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期・2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約4週間滞在することによって、生の英語に接し、英語運用能力を高める。また、イギリスで生活し、名所旧跡を訪ねることによって、イギリスの生活習慣や文化を肌で感じ体得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業の中心は8月2日出国、イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで3週間実施される語学研修にホームステイしながら参加、8月27日帰国のイギリス滞在にある。しかし、出発に備えて、前期に5回の事前指導を行う。パスポートの取得から、渡航手続きをこの期間に行い、あわせて現地での基礎情報や生活情報、そして必要最低限の英語の学習を行う。参加費は、別に配布されるチラシを参照のこと。英語力については、一切問わず、ゼロからでも現地の先生が懇切丁寧に指導してくれ、帰国するときには、英語の面白さが身にしみてわかるだろう。全期間当事者が同行する。なお、最低催行人数に達しない場合は、実施されないこともあるので注意。</p> <p>予定内容（あくまでも予定）</p> <p>5回の事前指導</p> <p>8月2日 成田出発 直行便にてロンドン</p> <p>8月3日 ロンドンからリーズへ</p> <p>8月3日—8月24日 ホームステイして、メトロポリタン大学の語学センターにて研修</p> <p>8月24日 リーズからロンドンへ</p> <p>8月25日 ロンドン市内観光</p> <p>8月26日 ロンドン・ヒースローから帰国の途</p> <p>8月27日 成田帰国</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、出席点に現地での課題成績を加味して評価する</p>	

【授業科目】 情報処理演習	【担当者】 宮武 直樹
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>最近のパソコン、ワープロ機器の普及はめざましいものである。この情報化社会の素養として、コンピュータの仕組み、操作からワープロ、表計算、図形処理、ネットワーク利用までの基礎を学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>「授業計画」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピュータの構成と操作方法</li> <li>2. 日本語ワープロ、Wordの基本操作（3級程度の文書作成）</li> <li>3. 表や罫線を使う文書作成（2級程度の文書作成）</li> <li>4. 図形や段組を使う文書作成（1級程度の文書作成）</li> <li>5. 表計算機能の使い方</li> <li>6. 作図機能の使い方</li> <li>7. 表計算ソフト、Excelの基本操作</li> <li>8. 成績表の作成</li> <li>9. 各種の成績グラフの作成</li> <li>10. 成績に関するデータベースの作成</li> <li>11. 学内ネットワークへの接続と電子メールにつ</li> <li>12. 電子メールの送受信</li> <li>13. 簡単なホームページの作成</li> <li>14. まとめ</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	



【授業科目】 選択外国語 英会話 (基礎)	【担当者】 サラ ブロック (Sarah Brock)
【開講期】 1年前期・1年後期	
<b>【授業目標】</b> 日常会話をやさしく紹介する。相手を理解する能力と返事ができるスタミナ(?)を一年かけて身につける。自分のことや文化についてコミュニケーションがしたい意欲が芽生える授業にする	
<b>【テキスト】</b> プリント (将来まとめてテキストにします)	
<b>【参考書】</b> 電子辞書、紙の辞書 (パックス講談社) など	
授 業 計 画	
<b>〔前期〕</b> (1-3週) 自己紹介のプリント、どうやって学校に来る?自分の近所はどういうところ?現在形と現在進行形中心の授業にする。 (4-8週) 話題の範囲を広げて、テレビやアニメなど現代日本の文化について話す。「以前はこうだったけど今はこうなっている」、文章をながくして会話する。 (8-12週) 東京では洋服店、喫茶店、ケーキ屋さんなどは世界一の数。どうやってよい店を見つけ出す?情報交換や意見交換の会話をします。 (13-15週) インタビューテストの受け方について説明し、実行する。日本語を一切使わない会話ができる?もちろん場所の名前や英語で開設する日本語は認める。(大丈夫、緊張しない、やさしくするから)。  <b>〔後期〕</b> (1-3週) 夏休みの課題は、スケジュール手帳の中に夏の出来事について、日本語でメモる。このメモをベースに夏休みについて会話をする。過去の夏(子供のとき)と今の夏ってどう違う?今年苦労したところは?将来夏休みで旅行したい?などの話題も含む。 (4-8週) ペットについて・自然について・学校生活について・旅行について、様々な話題を取り上げる。分野が変わるにつれ語彙も増える。辞書を忘れないで持ってきて。 (8-12) セルフォーン、DVD、コンピューター、どんどんテクノロジーが日常生活にはいり、その生活を急変することもある。自分はこの渦の中で何を考えている?意見を述べる力を身につける。 (12-15週) 自分の色・自分の名前・自分の夢を、自分らしく、そして相手が納得し感動するよう、言葉や声の使い方を調整し、完全版を提出する。できればインタビューテストもする。	
<b>【評価方法】</b> 課題やレポートの提出、プリントの提出、インタビューテストなど。授業の中でテストが行う。	

【授業科目】 選択外国語 英会話 (応用)	【担当者】 サラ ブロック (Sarah Brock)
【開講期】 2年前期・2年後期	
<b>【授業目標】</b> 中学あたりからの文法科目の総復習、ちなみに会話で適切である文法とそうでない文法の区別、を基盤に自然体でいられて、コミュニケーションを求める精神を養う。	
<b>【テキスト】</b> プリント (将来まとめてテキストにします)	
<b>【参考書】</b> 電子辞書、紙の辞書 (パックス講談社) など	
授 業 計 画	
<b>〔前期〕</b> (1-3 週) 自己紹介を面白くするには? マイナス発言 (自分は英語できない、自分の近所は面白くない) などを除けば何が残る? 現在形と現在進行形を調べる。用意した会話を使って短い劇 (スキット) も時々する。 (4-8 週) 自分の物語は? 難しい言葉を使ってしまうという辞書の罠とその脱出方法、そして話したくないときの逃げ方を探る。過去形と過去分詞中心の文法を利用する。 (8-15 週) 将来なにになりたい? 小さいときと今 (学生するとき) で嫌になるほど聞かれる質問です。真面目の話題、そしてちょっとふざけた話題を取り上げ、未来系を使いこなす。歌も使う。  <b>〔後期〕</b> (1-3 週) 夏休みの課題は英語日記でした。互いの日記を読み上げ、内容について会話をする。言葉の順序を正しくするコツと文法のパターンをいくつか使う。 (4-8 週) 自分の文化は? 日本のこと全ては管轄外ですよ、まず自分の日常生活での*文化*を、たとえば外国の留学生に説明できるぐらいの会話実力を目指す。説明文中心。 (8-12) 英語を聞いて判らないときは誰のせい? 自分の耳を信じて! といい、歌と映画を使って耳を慣らす。そして慣らした耳に入ってくる情報を受け止め、それに関して自分の感想、意見、考えを述べる力を目指す。関係代名詞・関係福祉をつかう。できれば生徒の応募に答え、見たい映画と聞きたい音楽 (歌いたい歌?) にしたい。 (12-15 週) 授業で何か作りたくない? 英語を使って何かを作ろう。実際に作れなくてもイメージでできる。料理番組のスキット、折り紙を子供に教えるスキット、手紙の書き方や読み上げ方、授業でやって課題にして、レポートにする。	
<b>【評価方法】</b> 課題やレポートの提出、プリントの提出、インタビューテストなど。授業の中でテストが行う。	

【授業科目】 選択外国語 フランス語会話	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】  1年の時に学んだフランス語を少し実践してみましよう。ビデオ教材を用いて、生のフランス語を聞き取り、少しでも話せるようにしましよう。</p>	
<p>【テキスト】  A.Monnerie, "Bienvenue en France" (Hatier/Didier)</p>	
<p>【参考書】  仏和辞書</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>全部で13課、各課ごとに楽しいストーリーがあります。2回の授業で1課進む予定です。毎回ビデオを見てフランス語を聞き取り、教科書の文法練習問題と各課の登場人物と共に会話の練習をしましよう。</p>	
<p>【評価方法】  平常点（毎回の演習の成績）</p>	

【授業科目】 選択外国語 ドイツ語会話	【担当者】 田中 安行
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビデオを見ながらドイツ語の基礎の復習と簡単な会話、表現の仕方などを発展させる。</li> <li>2. ドイツ語の童話や詩、歌などを学びながらドイツ語の音声に多く触れて、ドイツ文化への理解と親しみを深める。</li> <li>3. ドイツの社会や文化に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。</li> <li>4. 簡単な会話から発展して、自分のことなどを自己表現できる基礎を発展させる。</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音声訓練と表現——ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。</li> <li>2. ドイツ語会話——会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。</li> <li>3. ドイツ語の文構造理解——基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。</li> <li>4. 文化理解——ドイツで作られたスライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。</li> <li>5. 文章理解——辞書を使って、やさしいドイツ語の文や童話などを読んで、ドイツ語の文に慣れる。</li> </ol> <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。</li> <li>2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。</li> <li>2. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。</li> <li>3. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動を行い、ドイツに対する正しい知識と理解を得る。</li> <li>4. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。</li> <li>5. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気です充実した学習ができるようにする。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 英文講読

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 2年前・後期

【授業目標】

主に4年制大学の3年次編入をめざす学生を対象にして、読解能力を高める事を目的とする。

【テキスト】

「Living a Fruitful Life」(成美堂)

【参考書】

### 授 業 計 画

今後高学化が進むと共に、余暇の時間はますます増えていくに違いない。そんな中で「社会の様々なストレスとどのように向き合い、どのようにして充実した日常生活を送れるか」という事は、私達にとって大きな問題である。そこでこのクラスでは、「充実した生活」と密接にかかわる4つのテーマ、「食」、「スポーツ」、「ファッション」、「音楽」を取り扱っているテキストを使って、日本人の多くがこれらの分野を積極的に楽しんでいる様子を見てみたいと思ふ。

内容はそれぞれ興味深いものであると思ふので、参加者はよく予習して授業に臨んでほしい。テキストは、各章が1ページ程度の読み物と、その内容の理解度を測る練習問題、単語の感覚を養う問題(聞き取りを含む)、さらに重要構文に慣れるための英作文の構成されている。

聞き取り以外の部分は必ず予習(20分)を義務づけ、全員がやってきてあることを前提に授業を進めたい。

テキスト以外にも、必要に応じてプリントを配って、少しいつとは違った文件、テーマに慣れるための勉強も行ないたい。

【評価方法】

平常点と期末テストの結果とを総合して評価する。

【授業科目】 選択外国語 ビジネス英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 前期	
<b>【授業目標】</b> 1. 基本的なビジネス英語を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。 3. 上記を通して 21 世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21 世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。	
<b>【テキスト】</b> 開講時に指示する。	
<b>【参考書】</b> 開講時に指示する。	
授 業 計 画	
<b>【授業計画】</b> 1. 文章理解 ビジネスに必要なさまざまな形式の英文を使って、チャンク毎に文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 2. 国際的なビジネス問題の理解 現代世界の経済や政治など時事問題などの英語教材を用いて広い視野で学び、世界のビジネスにおける文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 3. 音声訓練 ビジネスで使う基本的な英会話のパターンに慣れるように音声教材を使いながら、練習をする。 4. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、対話や会議で用いる英語を音声で表現できる力をつける。	
<b>【授業方法】</b> 1. ビジネスに必要な平易な E-mail の英文の読み方、書き方を学び、実際に送受信してみる。 2. 保育、福祉、一般事務などさまざまな分野の実務的な英会話の基本を学び、訓練する。 3. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 4. 語句や意味の奥にある意味や発想の仕方を理解しながら外国人とのビジネスにおいて基本的に重要なコミュニケーションや異文化理解の方法を学ぶ。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況や発言などの平常点、口頭による質疑応答および小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	

【授業科目】 選択外国語 時事英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 後期	
<b>【授業目標】</b> 1. 現代の生活、文化、環境、心理、保育、福祉問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、今後の社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて幅広い人間的な力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 4. 時事英語の英文を用いて速読に慣れるようにする。	
<b>【テキスト】</b> 開講時に指示する。	
<b>【参考書】</b> 開講時に指示する。	
授 業 計 画	
<b>【授業計画】</b> 1. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造をチャンク毎に理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができる文章の内容理解の方法を学ぶ。 2. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、心理、保育、福祉、平和問題などを取りあげた自作英語教材の“The Real Times”を用いて、世界の多くの文化や歴史的背景を理解できる巾広い視野を身につける。 3. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような対話練習を行い、重要表現を習得して、音声による自己表現力もつける。	
<b>【授業方法】</b> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ、英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. 英字新聞“The Real Times”やインターネットでの英文を読解するためのルールを身につける。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 6. 自分でインターネットを使って英文ニュースを作ったり、自己表現文を作って実践的な英語力を身につける。	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	

【授業科目】 選択外国語 異文化コミュニケーション	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
<b>【授業目標】</b> 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
<b>【テキスト】</b>  必要に応じて指示する	
<b>【参考書】</b>  必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 * 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
<b>【評価方法】</b>  ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	



【授業科目】言語とコミュニケーション	【担当者】佐々 加代子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子、コミュニケーション能力弱者のQOL援助、犀書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、子どもからの贈りもの、発達臨床相談</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語の特性</li> <li>2. コミュニケーションにおける言語</li> <li>3. コミュニケーションの基本的過程 <ul style="list-style-type: none"> <li>ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール</li> <li>媒介となる距離—信号行動系</li> </ul> </li> <li>4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた</li> <li>5. 対象児・者別によるコミュニケーション関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人</li> </ul> </li> <li>6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容</li> <li>7. 両者の関係とQOL</li> <li>8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと <ul style="list-style-type: none"> <li>ここでの1—8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。</li> <li>情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。</li> <li>グループでの討論も加えていく。</li> </ul> </li> </ol>	
<p>【評価方法】平常点を重視する。</p> <p>最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品はどのように出来上がっているのだろうか、作られた世界（フィクション）である文学作品は現実世界を生きる私たち読者にどんな影響を与えるのか、そもそも文学作品とは何か、以上のことを考えて、文学作品を読む有意義性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要であれば、授業内で紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品をただ活字を追うようにして読むだけでは、その作品が読者に与えてくれるさまざまな喜びやメッセージを引き出すことはできない。その結果、読む作業を疎んじている人はいないだろうか。実は、文学作品は、確かにつくられた世界（フィクション）だが、現実の世界に生きる私たち読者にさまざまな影響を与えている。作られた世界であることを知りながらも、読み終えて感動を覚えた経験を持つ人は多いだろう。それでは、文学作品はどのように作られていて、現実世界に生きる私たち読者にとってそれは何なのか。この点をさまざまな角度から考えてみよう。一回きりしかない人生を何倍にも楽しむ方法、それが文学であり、実は私たちの人生だって、物語になっていることに気づくはずだ。次のような内容で講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「わたし」と他者</li> <li>2) 視点と語り手</li> <li>3) 語り手の言語と無意識</li> <li>4) 表現か内容か</li> <li>5) 小説世界内とプロット</li> <li>6) 小説の蓋然性</li> <li>7) 作者の死</li> <li>8) 読者・印象批評</li> <li>9) 読みのあれこれ</li> <li>10) 人生とフィクション</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する</p>	

[授業科目名]	造形美術とイマジネーション	[担当者] 八木 紘一郎
[開講期]	2年・後期	
[授業目標]	<p>人間にとってイマジネーション(想像)をめぐらす営みの意味を考える。できるだけ身近な日常的な造形美術、例えば、招き猫やキャラクターグッズ、ミッキーマウスやプーさんなどのディズニーキャラ、節分の鬼や、七夕、クリスマスやサンタクロースの由来や摩訶不思議な異界のこと、太古の昔の女性像や、身近な信号やさまざまな記号などを通じたイマジネーション活動を実態を扱い、イマジネーションをめぐらすことの今日的意味と課題を検討する。</p>	
[テキスト・参考書]		
<b>授 業 計 画</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 古代における初めての彫刻は女性像だった。なぜ女性像はつくられたか。だれが製作したか。</li> <li>2) 人はなぜ小さなキャラクター造形物を身近におくのか。なぜ「かわいい」造形美術キャラを好むのか。かばんや携帯電話につけているキャラクター人形の意味を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・招き猫や置き物を考える。</li> </ul> </li> <li>3) 色彩を通して考える。白と黒の世界。なぜ、日本や東洋の絵画には背景が白の余白をたっぷり使われるが、ヨーロッパ絵画の背景には黒が多用されていることが多い。どうしてか。</li> <li>4) 身近な生活デザイン(衣服など)に使用されている色彩を通して、人間や行動心理を考える。</li> <li>5) 異界との出会いをイマジネーションしている造形美術を通して考える。 <p>例えば、教会、寺院寺社などの宗教建築や絵画や彫刻等を通してして、人間が異界世界をどれだけイマジネーションしてきたかを具体的に考える。実存しない異界の生き物(妖怪・妖精・お化け・化け物など)の存在をイマジネーションした造形美術をとりあげ、いかに人間は異界の生き物や世界と交流しながら生きているかを考える。</p> </li> <li>5) クリスマスツリーやサンタクロース、なまはげや鬼などの造形美術を通して異界を考える。</li> <li>6) 相撲、コマ、凧などと異界との交流史を考える。</li> <li>7) デパートや生活用品に記載された記号、天気図記号、交通標識などの諸記号に込められた意味やメッセージの解読を通して、いかに記号の世界に生きているかを考える。</li> </ol>		
[評価方法]	平常点	

【授業科目】話言葉の伝承

【担当者】東 喜 望

【開講期】1・2年前期

【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち口づてに話言葉によって語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。日本本土と南西諸島・近隣アジアの説話を事例としながら大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。

【テキスト】『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)  
他に資料プリントを配布する。スライド等上映。

【参考書】適宜発表。

### 授 業 計 画

#### 講義概要

1. 序 (1)わが国をニッポンというのなぜか。  
(2)国号と環太平洋の太陽神話
2. 「神話」・「伝説」・「昔話」とは何か。
3. 説話伝承の起源  
(1)自然と人間の意識  
(2)信仰と「語り」—個人・村落(ムラ)レベルから国家レベルへ  
(3)神話の発展—伝説・昔話へ
4. 伝承文芸の現代的意義

【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配布プリント参照可)

【授業科目】 絵本・絵巻と物語表現	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの〈交響〉が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす〈交響〉が成り立つのか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に指示</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 次のような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻・（竹取物語）などを例に</li> <li>2, 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に</li> <li>3, お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』（奈良絵本竹取物語）などを例に</li> <li>4, 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『あおくんときいろちゃん』『あり』（竹取物語）などを例に</li> <li>5, 紙芝居</li> <li>6, アニメーション 高畑・宮崎作品を例に</li> </ol> <p>II 上記Iを通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 絵の視座・物語の視座</li> <li>2, 絵の空間表現・物語の空間表現</li> <li>3, 絵の時間表現・物語の時間表現</li> <li>4, 見聞く人の位置と語り手の位置</li> </ol> <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について</li> <li>2, ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について</li> <li>2, 絵・ことばの響き合いについて</li> </ol> <p>注意：絵本の読み聞かせや語り聞かせのノウハウを、伝授する授業では、ありません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 源氏物語の世界	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、&lt;どう生きるか&gt;に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部にとらわれず、『源氏物語』が、“すごい”ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>【参考書】 大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語：瀬戸内寂聴訳など 源氏物語絵巻・アニメその他のビデオ etc</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。</li> <li>2, 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。</li> <li>3, 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対する女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。</li> <li>4, 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③浮舟 etc について、それぞれの人物像を探っていく。</li> <li>5, 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が天皇のようなそうでもないような地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとっていったい何が重要なことなのか、考えたい。</li> <li>6, 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。</li> <li>7, 源氏物語の笑いについて考える。</li> <li>8, 物語表現の美しさについて考える。</li> <li>9, 源氏物語の古代性と現代性について考える。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 近現代の文学	【担当者】 高 原 二 郎
【開講期】	
【授業目標】 文学作品など読むヒマにもっと役に立つことないの？ 作家なんてホントはなにしてるんだろ。 文学史なんてのやらされてアタシタメイクなだけ！ でも基礎知識くらいはシカタナイかもね。 などと、いじ悪くホントで言ってみようではないか。	
【テキスト】 特になし。	
【参考書】 展開の中で紹介する。	
授 業 計 画	
<p>(概要)</p> <p>上記のように、「文学入門」的な狙いを含んだ作品理解、作家論、課題論、文学史等を扱います。従って、(1) 時々の社会と作品主題の構構意味。(2) 社会に対する作家の姿勢や思想性。この二点とひとまず踏まえた上で下記の課題に発展させていきます。</p> <p>(a) 知識を基として中上での大きな課題に読み振りてゆく試み。 (b) 作家や作品を時代的歴史的に位置付けてゆく試み。</p> <p>(具体的な展開)</p> <p>近代日本の開化から太平洋戦争を経ての現代まで、主要な課題を掲げて作家作品を扱います。例えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開化と西洋 (島外、漱石、荷風、光太郎)</li> <li>2. 個人・ヒューマンイズム・エコ (漱石、白樺派、龍之介)</li> <li>3. 愛と人間性 (武郎、自然主義-松小波、太宰治)</li> <li>4. 自然と人間 (独歩、武郎、賢治)</li> <li>5. 社会制度と人間 (労働文学)</li> <li>6. 伝統と近代 (潤一郎、康成)</li> <li>7. 科学と人間 (戦争と文学)</li> <li>8. 疎外と人間 (石牟礼道子)</li> </ol> <p>(なお時々の都合では変更、省略もあり得ます)</p> <p>具体的な作品は展開の中で予告しますが、予習読書は強制しません。</p>	
【評価方法】 レポート評価の予定。	

【授業科目】庶民の生活文化	【担当者】高橋徹
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのでしょうか。この授業では、第二次世界大戦後の日本人の生活の歴史を理解し、また、みなさんが自分自身の生活についても、考えるきっかけを得ることを目的としています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で紹介していきますが、とりあえず『暮らしの世相史』（加藤秀俊、中公新書、2002年）をあげておきます。</p>	
授 業 計 画	
<p>生活文化といっても、「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、時代をたどりながら、テーマに沿った、古い映画やドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。</p> <p>テーマとしては、次のようなものを予定しています（資料の関係で、変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活史をつくる</li> <li>(2) 『映像の世紀』で見る 20 世紀の日本</li> <li>(3) 第二次世界大戦の時代</li> <li>(4) 戦後復興と闇市</li> <li>(5) 戦後民主主義と女性</li> <li>(6) 太陽族と「新しい」若者文化</li> <li>(7) 家電製品の普及</li> <li>(8) 高度経済成長時代のサラリーマン</li> <li>(9) 東京オリンピックがもたらしたもの</li> <li>(10) ビートルズ現象</li> <li>(11) 旅行の時代</li> <li>(12) 歌謡曲で聴く昭和</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポート、期末試験をあわせて評価します。</p>	



【授業科目】 現代の文化と風俗	【担当者】 先川 直子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>わが国の文化や風俗には、若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションを創り出していくようになった。</p> <p>本講義では、その中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものに焦点を当てて、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。必要に応じてプリント資料を配付する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>佐々井啓・篠原聡子・飯田文子編著『生活文化論』（朝倉書店）</p> <p>小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史—近現代の移り変わり—』（光生館）他</p>	
授 業 計 画	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハイカラさん—洋風の導入と和風との折衷—</li> <li>2. モダンガール</li> <li>3. あこがれのアメリカ文化—自由で豊かな生活の象徴—</li> <li>4. 昭和30年代の生活文化革新       <ul style="list-style-type: none"> <li>団地の誕生と核家族の増加</li> <li>家庭裁縫から既製服へ</li> <li>3種の神器と3C—家電製品の普及—</li> <li>インスタント食品の登場</li> </ul> </li> <li>5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論</li> <li>6. 「若者」がつくる新しい文化       <ul style="list-style-type: none"> <li>ミニスカート—街角から生まれた若者のファッション—</li> <li>ジーンズ—労働着から反抗・反体制のシンボルへ—</li> <li>新人類文化とDCファッション</li> <li>ディスコ文化とボディコン・ギャル</li> <li>コギャル文化と携帯電話の普及</li> </ul> </li> <li>7. 大量生産・大量消費への反省—「もの」とどう向き合うか—</li> <li>8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】現代英米の文学	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀から20世紀にかけてのイギリス、アメリカの代表的な小説を紹介し、作品の歴史的背景や文化的情報を取り込みながら、作品の解釈を試みる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業内で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>イギリスの小説を6作品、アメリカの小説を6作品、1講義に1作品ずつ取り上げていく。それぞれの講義は、まずは時代背景、そしてその時代の文学的特徴、作家紹介、作品紹介、さらに、作品の解釈へと進めていく。文学作品は読まなければ意味がないので、できるだけ多くの作品を読んでほしい。少なくとも、最後にレポートを書くために、イギリスの作品を一作品、アメリカの作品を一作品、合計2作品は読むこと。次の順番で講義していく。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッター』シリーズ  イギリス第2回 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』  イギリス第3回 トーマス・ハーディ『テス』  イギリス第4回 オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』  イギリス第5回 D.H. ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』  イギリス第6回 サマセット・モーム『お菓子とビール』  アメリカ第1回 ナサニエル・ホーソン『緋文字』  アメリカ第2回 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』  アメリカ第3回 セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』  アメリカ第4回 F.スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』  アメリカ第5回 ウィリアム・フォークナー『八月の光』  アメリカ第6回 アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
<b>【授業目標】</b> 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。	
<b>【テキスト】</b> 「児童文学を英語で読む」（岩波ジュニア新書）	
<b>【参考書】</b> 「英米児童文学の系譜」こびあん書房	
授 業 計 画	
1. 世界の児童文学を国別にとりあげ、歴史や発展をとらえる。 2. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 3. 関連する作品を読んだり、映像によって理解を深める。 4. なぜ児童文学が多く読まれるのかを考えていく。 1) 「アラビアンナイト：アラジン」（アラビア） 2) 「秘密の花園」（イギリス） 3) 「オズの魔法使い」（アメリカ） 4) 「あしながおじさん」（アメリカ） 5) 「モモ」（ドイツ）	
<b>【評価方法】</b> ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】比較文化論・近代文明と日本人	【担当者】高原二郎
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちがものごとを考えたり判断したりするときの拠りどころ、物差し、尺度。日常生活をとり囲み、私たちの見方や考え方や生き方を、いつの間にか左右する大きな枠組み。つまりは皆さん一人ひとりが、それへ向けて衝き当り、悩み、そして切り拓いてゆくよりない「価値観」といったもの。その「価値観の在りよう」について、各自が自己衝突を開始することを以て授業の目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>用いません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で示します。読書は義務としません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の視点は、文学に関わる立場から、とします。</li> <li>・日本の近代化、それに伴う価値観の衝突や混乱や、さらには科学技術に支えられる今の社会をどのように考えるかなど、下記の項目を目安に展開します。一緒に考えてゆきましょう。なお「ヒューマンイズム」については、特にしっかりと考えましょう。</li> </ul> <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の近代化と西洋       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 文明の先進と後発</li> <li>(2) 新旧混乱期の実情</li> <li>(3) キリスト教、儒教、武士道</li> <li>(4) 文学者の西欧体験</li> </ol> </li> <li>2. 近代的な考え方へのアプローチ       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 個人、人格、エゴ</li> <li>(2) 愛、ヒューマンイズム、慈悲、仁</li> </ol> </li> <li>3. 自然と人間と近代       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 西洋の自然</li> <li>(2) 東洋の自然</li> <li>(3) 日本の自然</li> <li>(4) 自然と人間へのヒント</li> </ol> </li> <li>4. 自然科学と人間       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然科学をどのように考えるか</li> <li>(2) 自然科学と制度</li> <li>(3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」</li> <li>(4) 戦争</li> </ol> </li> <li>5. 現代社会と人間疎外 -水俣病をめぐる-</li> </ol> <p>ノートは、問題点を中心に要点をメモできるよう、板書を活用します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、何らかの自己衝突をつかまえてレポート。授業出席を大切にするとともに、思考のひらめきをも大いに期待します。</p>	

【授業科目】国境を越える民俗学

【担当者】 東 喜 望

【開講期】1・2年前期

【授業目標】古来、社会の基底を支えてきたのは名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らず、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に、既に実地踏査した中国や東南アジアの島々・日本の「国境を越えて、生きた人々の生活を重視したい。

【テキスト】民俗事例の資料として『沖縄・奄美の説話』(おうふう刊)を使用。

【参考書】適宜指示する。映像資料(スライド・ビデオ・グラフィック)を使用。

### 授 業 計 画

#### 講義概要

1. 「伝承」「民俗」とは何か。
2. 西欧民俗学・日本民俗学の発生と展開
3. 人類の知恵と技術と生活文化(食・住・衣)
4. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活)
  - (1) 山人—日本の山人(マタギ・サンカなど)・ユーラシア大陸の遊牧民・アジアの狩猟民(中国・台湾・東南アジア)
  - (2) 海人—日本の海人と家船・アジアの海人(中国の蛋民・東南アジアの漂海民など)
5. 原初の定住生活—日本・アジアにおける焼畑農耕から稲作農耕へ。
6. ムラの形成とその基本構造
7. 村落祭祀と通過儀礼
8. 民俗社会をつなぐ「結い」

【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配付プリント参照可)。

【授業科目】 現代社会と人権	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年 後期 木曜日 1時限	
<p>【授業目標】</p> <p>1年半後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出て行って、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】 レジュメ配布</p>	
<p>【参考書】 伊田広行「シングル単位の恋愛・家族論」(世界思想社)、山田昌弘「パラサイト・シングルの時代」(ちくま新書)、伊田広行「シングル単位の社会論」(世界思想社)、福島瑞穂「結婚と家族」(岩波新書)、落合恵美子「21世紀家族へ」(有斐閣選書)</p>	
授 業 計 画	
<p>現代の日本社会で女性がどのような状況におかれているかを理解するために、女性労働と恋愛・結婚・家族について、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討し、現代社会における女性の人権の有様を明らかにしたいと思います。</p> <p>具体的には労働では、① M字型雇用 ② セクシュアル=ハラスメント ③ 派遣労働 ④ 育児・介助休暇 ⑤ パート労働</p> <p>恋愛・結婚では、⑥ 恋愛観・結婚観 ⑦ 結婚 ⑧ 家事・育児 ⑨ 夫・恋人の暴力(DV) ⑩ 子どもの虐待 ⑪ 離婚</p> <p>という11項目の中からいくつかを取り上げていきたいと考えています。</p> <p>注1) 受講者数によってですが、講義・ディスカッション等のどの形式になるかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点：学期末試験＝2：1</p>	

【授業科目】 憲法と私たち	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年前期 木曜日 1・2時限	
<p>【授業目標】</p> <p>日本国憲法の人権規定の解釈論を中心にしながらも、実際の社会で人権がいかん保障されているかという点を踏まえ、労働に関する諸権利と私的生活における権利を重視する「ジェンダー憲法学」としての人権論を展開する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">レジュメ配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">特に必要なものはないので、必要な時に紹介したいと思います。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 人権原理 ～まずは、人権全体に関わる様々な原理・原則を検討する。</p> <p>(1) 人権保障の類型 (2) 人権の享有主体 (3) 「公共の福祉」と二重の基準論 (4) 人権規定の効力 (5) 平等</p> <p>2 基本的人権 ～人権類型論を基礎として人権規定を分類して検討する。</p> <p>① 包括的人権 ② 精神的自由 ③ 経済的自由 ④ 社会権等 ⑤ 刑事手続き ⑥ 受益権 ⑦ 参政権 ⑧ 前提的権利 ⑨ 義務 ⑩ 人権のまとめと人権体系論</p> <p>なお、1・2で述べた項目に対して、以下の3・4の様な追加・修正があります。</p> <p>3 裁判・社会問題</p> <p>(1) 女性労働 (2) 家族の多様化 (3) 教科書検定 (4) 婚外子差別 (5) 環境権訴訟 (6) 死刑廃止 (7) 夫婦別姓 (8) セクシュアル=ハラスメント</p> <p>4 ジェンダー憲法学による修正</p> <p>① 公的領域と私的領域の二元構造 ② 家族単位と個人単位 ③ 近代家族論 ④ 労働権の重視 ⑤ ジェンダー論・フェミニズムとの遭遇 ⑥ 性的自己決定権 ⑦ 子どもの人権 ⑧ ポジティブ=アクション ⑨ 社会保障と家事・育児の社会化</p> <p>*注1) 半年で上記の項目をすべて扱えることはありえないので、その中からいくつか扱うこととなります。</p> <p>2) 授業の支障となること以外は何をやっても構いませんが、お喋りや10・15分以上の遅刻などはまったく許されません。また、積極的な授業参加を望みます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">ペーパー試験より、授業参加(レスポンス=シート)を重視します。</p> <p style="text-align: center;">出席点：学期末試験=2：1</p>	

【授業科目】日本とアジアの近現代史	【担当者】佐藤いづみ
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>近代日本は、その歩みを始めたときからアジアとの大きなかかわりを持っていました。この授業では、アジアに向けた日本のまなざしに焦点を当てて、日本とアジアの近現代史を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>次の内容で授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 高杉晋作が見た太平天国運動下の上海・・・明治維新を醸成した植民地化への危機感</li> <li>* 「征韓論」と台湾出兵・・・誕生したばかりの維新政府は、なぜ初めから対外膨張政策を採ったのか。</li> <li>* 福沢諭吉の「脱亜論」・・・「脱亜論」で展開した福沢の中国観、朝鮮観とともに、台湾論に注目。</li> <li>* 潘佩珠の『ヴェトナム亡国史』・・・日露戦争がベトナムとビルマに広げた波紋とその行方。</li> <li>* 3.1 独立運動と関東大震災の事件・・・朝鮮植民地化と朝鮮人に向けられた市井の人々の暴力。</li> <li>* 満州帝国の建設・・・大陸へ渡った青年、花嫁、家族。そして土地を奪われ「匪賊」と呼ばれた中国の人々。</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末に、レポートを提出してもらいます。</p>	



【授業科目】 現代社会と教育	【担当者】 民 叙 言
【開講期】 前期	
【授業目標】 現代社会は、多様な相をみせ、大きく変化してきている。その なかで私たちは生活する、充実した毎日を送るためには「教育」は欠か せない。本講では幼児教育(保育)に限定し、社会との関わりを考えていく。	
【テキスト】 平成14年版 ハンドブック 教育・保育・福祉関係法令集 北大路書房	
【参考書】 講義の中で必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間にとって「教育」はどのような意味をもつか</li> <li>2. 乳幼児期の「教育」としての保育の意味</li> <li>3. 現代社会の特徴 (1) 家族生活</li> <li>4. 同 上 (2) 地域生活</li> <li>5. 現代社会における保育の課題 (1) 幼稚園</li> <li>6. 同 上 (2) 保育所</li> <li>7. 同 上 (3) 学童保育所</li> <li>8. 現代社会における「教育」 (1) 福祉と教育</li> <li>9. 同 上 (2) 国際化と教育</li> </ol>	
【評価方法】 レポートと出席点による	

【授業科目】 社会福祉の考え方	【担当者】 山路憲夫
【開講期】 1 年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とはなにか。ここでは広義の社会福祉を考えたい。広義の社会福祉とは、公共政策一般、社会政策、狭義の社会福祉(私的社会事業、公的社会事業)が含まれる。最近の社会福祉は多様化、複合化する一方だ。利用者の立場からとらえ直すという意味でも、広義の社会問題対策として幅広くとらえ、それぞれ制度を理解すると共に、各領域の関連を明らかにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「日本の社会保障」(広井良典、岩波新書)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>I 広義の社会福祉とはなにか 社会福祉、社会保障、社会政策の特徴と関連性</li> <li>II 社会福祉の成立の背景</li> <li>III 社会福祉の各制度の現状と問題点 公的年金制度、医療保険、公的介護保険、生活保護、社会福祉制度</li> <li>IV 21 世紀の課題 少子高齢化と負担と給付の現代的問題</li> <li>V まとめ</li> </ul>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験(持ち込み可)</p>	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 前期	
<b>【授業目標】</b> ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点からとらえなおし、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。	
<b>【テキスト】</b> テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。	
<b>【参考書】</b> 授業時に随時紹介する	
授 業 計 画	
<p>今日、家族や女性を取り巻く社会的状況は大きく変化した。男女共同参画社会が志向され、男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p>	
<b>【授業内容】</b> 1、 ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー 2、 女性のライフサイクルの変化 3、 ジェンダー統計に見る現状と課題 4、 労働とジェンダー 5、 福祉とジェンダー 6、 女性と人権ードメスティックバイオレンスー 7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き	
<b>【評価方法】</b> 筆記試験(ノート、授業中の配布資料など参照可)、平常時の提出物、出席状況の総合評価。	

【授業科目】現代世界とマイノリティー	【担当者】中島好伸
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>世界のマイノリティ（少数民族集団）がどのような歴史の元、現在のような分布になってきたのか、その歴史的背景を理解し、マイノリティが絡む民族紛争を概観する。さらに、マイノリティが複雑に絡み合うアメリカ合衆国の状況を見て、マイノリティ問題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>現在、世界のいたるところで紛争が行われている。その原因には、多くの場合、19世紀のヨーロッパの大国が勝手に国境線を引いたために分断された民族が関係している。パレスチナ問題、コソボ紛争、アフガニスタン問題、という言葉聞いたことがあるだろう。この背景には、少数に分断された民族（マイノリティ）が深く関わる。このような世界の状況を、まずは概観する。さらに、多民族国家といわれるアメリカは、世界の警察と自称しながら、自国の中にマイノリティ問題を多く抱えている。ネイティブ・アメリカンや（インディアン）やアフロ・アメリカン（黒人）は特に有名である。このようなアメリカ国内のマイノリティ問題を、それぞれの集団に即してみよう。授業は次のような順に講義していく。</p> <p>マイノリティとは</p> <p>帝国主義と植民地の遺産</p> <p>民族紛争</p> <p>人種の坩堝からサラダボール理論へ：アメリカのマイノリティ</p> <p>アメリカ黒人の歴史</p> <p>ネイティブ・アメリカン</p> <p>ユダヤ人</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】女性労働の問題	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 近代日本における女性労働の歩み</li> <li>2、 女性労働の現状と課題</li> <li>3、 女性労働と法</li> <li>4、 女性労働の国際比較</li> <li>5、 家事・育児・介護と女性労働</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 地域生活と家族	【担当者】 民 秋 言
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私対人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなかに生まれ出、育ち、生活し、老年を送る。この家族は地域のなかにある。地域のあり方と大きく関わっている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義の中で必要に応じて指示する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>同 上</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間にとって家族とは何か</li> <li>2. 家族のはたらき(機能)</li> <li>3. 家族のなりの人間関係 (1) 夫婦関係</li> <li>4. 同 上 (2) 親子関係</li> <li>5. 同 上 (3) きょうだい関係</li> <li>6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度</li> <li>7. 同 上 (2) 核家族と直系家族</li> <li>8. 地域社会の変化・都市化</li> <li>9. 地域のなりの生活・コミュニティ</li> <li>10. 地域生活と家族のあり方</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストと出席点とによる</p>	

專門教育科目（2年）





【授業科目】 障害児・者福祉論	【担当者】 友田 篤
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>障害者福祉の理念や障害の理解、障害者問題の歴史、福祉サービスの内容などの基本的事項を総括的に学習し、講義だけではなく実践現場の紹介を交えながら、障害児者への援助の理解を深める。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>障害者福祉論 介護福祉士養成講座 中央法規出版</p>	
<p>【参考書】</p> <p>障害者問題の基礎知識 石渡和実 明石書店  介護福祉学習辞典 吉田宏岳監修 医歯薬出版</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害とは何か。(概念と定義)</li> <li>2. 障害者福祉の基本的な考え方</li> <li>3. 障害者の実態と多様な福祉ニーズ</li> <li>4. 障害者福祉の歴史</li> <li>5. 施策の体系</li> <li>6. 障害者への福祉サービスの展開</li> <li>7. 障害者福祉に関連する分野</li> <li>8. さまざまな障害者の現状と課題</li> <li>9. 福祉改革と社会福祉法</li> <li>10. 社会福祉施設での援助の実際</li> </ol> <p>以上の他、随時内容を調整しながら実践現場のビデオも活用し授業を進める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ミニレポートと試験レポート、出席状況、授業態度で評価。</p>	

【授業科目】社会福祉援助技術	【担当者】山路憲夫、鳥羽信行
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人の生活していく際に起きるさまざまな福祉問題を解決・援助するための基礎理論、方法を学ぶ。とくに介護福祉士に必要な不可欠な社会援助技術について、理解を深めていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>福祉士養成講座編集委員会編集「介護福祉士養成講座・社会福祉援助技術」中央法規</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>I 社会福祉援助技術の基本的考え方</p> <p>II ソーシャルワークの歴史的考え方</p> <p>III 介護福祉にとっての社会福祉援助技術の意義</p> <p>IV ケアマネジメントと介護保険</p> <p>V 個別援助技術</p> <p>VI 集団援助技術</p> <p>VII ケアマネジメント</p> <p>VIII 間接援助技術と関連援助技術</p>	
<p>-----</p> <p>【評価方法】</p> <p>出席状況と平常及び学期末レポート</p>	

【授業科目】 社会福祉援助技術演習	【担当者】 鳥羽信行
【開講期】 2年 後期	
<p><b>【授業目標】</b>  前期で行った社会福祉援助技術の理論や考え方について理解を深め、社会福祉の価値と倫理に基づいた「自己理解」および「クライアント理解」に焦点を当て、社会福祉の実践現場において応用能力を向上させるために、幅広い視点を養うことを目標とする。</p>	
<p><b>【テキスト】</b>  福祉士養成講座編集委員会編集  『介護福祉士養成講座5 社会福祉援助技術』 中央法規</p>	
<p><b>【参考書】</b>  授業の中で適宜紹介する。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>1. 「自己理解」「他者理解」および「クライアント理解」についての演習。</p> <p>2. 社会福祉のさまざまな現場での事例を用いて、社会福祉援助技術がどのように活用されているのかを検討する。</p> <p>以上の項目について、小グループによるディスカッションやビデオ、その他社会福祉援助技術演習のさまざまな手法を適宜取り入れる。</p>	
<p><b>【評価方法】</b>  平常の授業態度、リアクションペーパーおよび課題の提出、学期末試験による。</p>	

【授業科目】 家政学実習Ⅰ（栄養・調理）	【担当者】 風見公子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害者（児）や高齢者の食事に関する援助の基本的な方法について実習によって学ばせる。</li> <li>2. 施設実習などで経験した食事介助のあり方、食品衛生の管理の方法を実習と関連させながら理解させる。</li> </ol>	
<p>【テキスト】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教師作成のプリント</li> <li>② 足立己幸 著 「主食 主菜 副菜料理成分表」 群羊社</li> </ol>	
<p>【参考書】</p> <p>参考書は授業の中で、適宜、紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な調理操作、及び調理器具の扱い方を日常の家庭料理の実習を通じて学ぶ。</li> <li>2. 献立作成・栄養価計算 自分の食事記録及び、その診断によって望ましい食事構成のあり方を学ぶ。 また、実際に献立作成したもので調理実習も行う。</li> <li>3. 障害者（児）・高齢者にとって望ましい食事を、主に食物形態の変化を中心に実習し学ぶ。</li> <li>4. 障害者（児）・高齢者の食行動を理解する為の実習を行う。また、実際的な食事の援助方法を学ぶ。加えて、衛生管理を行う。</li> <li>5. 嗜好調査の方法と分析方法を演習する。</li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験もしくは課題レポート及び出席状況</p>	

【授業科目】 家政学実習Ⅱ（被服・住居）	【担当者】 山本 良子（被服担当） 櫻井 典子（住居担当）
【開講期】 2年 前・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>《山本》 被服生活の管理に関する技術を実習を通して習得させ、かつ高齢者や障害者の家庭生活の管理に必要な実践的な経営能力を培わせる。</p> <p>《櫻井》 私たちにとって住居とは、日常生活の基盤であり、人間・家族が成長発達し、生活文化が築かれ伝承される場である。 本授業は、誰もが安全で快適に暮らすための住居や住生活の計画・管理についての理解を深め、実践力を養うことを目的としている。住居の基本的な役割をふまえ、高齢者や障害者に配慮した室内環境、住居計画、住居を含む地域環境のあり方について、講義、演習、レポート作成などをおして学んでいく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《山本・櫻井》 佐々井啓編 「家政学実習ノート」 誠信書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>《山本》 大谷陽子編 「家政学実習」 建帛社</p> <p>《櫻井》 後藤久 他 「基礎シリーズ住居学入門」 実教出版 また随時、講義中にプリントを配布し、参考図書も紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>《山本》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A. 介護のための被服の選択 体型の特徴、計測法（高齢者の体型）</li> <li>B. 被服製作に必要な知識 用具、基礎縫、小物の製作実習</li> <li>C. 被服素材の特徴および繊維鑑別の実習 素材表示に示されている繊維の簡単な見分け方の実習</li> <li>D. 被服管理実習、繊維製品の表示 洗濯、しみ抜き、仕上げ、保管その他</li> <li>E. 高齢者や障害者のための被服のデザイン・構成及び着脱の工夫、 体型・障害の例による使いやすい被服の検討を考える。</li> </ul> <p>《櫻井》 主に以下の内容について実習を中心に講義も行いながら学んでいく</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住生活と生活空間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの役割・意味</li> </ul> </li> </ol>	

※次ページへ続く

※前ページより続く

- ・ 家族周期と住居
- ・ 地域生活と住居の関係

〈主な実習〉 自分にとって住まいとは？

## 2. 住まいの計画

- ・ 住環境の選択と住まいの計画
- ・ 平面図の読み方・書き方
- ・ 生活ゾーンの意味と役割

〈主な実習〉 平面図の書き方、ゾーニング

## 3. 室内環境整備

## 4. 高齢者・身体障害者と住生活

- ・ 高齢者・障害者の住生活の現状と住宅政策
- ・ 日常生活の基本動作と空間
- ・ ユニバーサルデザインとバリアフリーデザインの考え方
- ・ 住宅改修と福祉用具

〈主な実習〉

- ・ 建物点検
- ・ 高齢者のための住宅改修計画

## 5. 福祉のまちづくり

### 【評価方法】

《山本》 実習レポート、出席状況、平常点などで総合的に評価する。

《櫻井》 出席・授業への取り組み、設計課題、レポート課題

【授業科目】 医学一般Ⅲ	【担当者】 明渡陽子										
【開講期】 2年 後期											
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.わが国の保健・医療・福祉の歴史と現状対策の理解をはかる。</li> <li>2.医療法制度の概要の理解。</li> <li>3.医療関係者とのスムーズな連携のために… 医療・福祉現場で必要とされ、理解していたほうが better な知識の習得。</li> <li>4.介護福祉士自身の健康増進・管理法の習得。</li> </ol>											
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">介護福祉士養成講座 10 医学一般 (中央法規)</p>											
<p>【参考書】</p>											
授 業 計 画											
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康の概念とわが国の健康水準</li> <li>2) 公衆衛生の動向           <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>①人口統計</td> <td>③医療関係者の現状</td> <td>⑤医療保障制度</td> </tr> <tr> <td>②疾病と受療状況</td> <td>④医療施設の現状</td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>3) 保健医療対策の概要           <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>①老人保健対策</td> <td>③生活習慣病対策</td> </tr> <tr> <td>②精神保健対策</td> <td>④母子保健対策など</td> </tr> </table> </li> <li>4) 健康増進施策 —食生活と栄養・運動・喫煙・アルコール・ 休養とストレス—</li> <li>5) 健康増進と生活習慣病などの疾病予防法</li> </ol> </li> <li>2. 医事法制の概要       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療法</li> <li>2) 医師法</li> <li>3) 保健婦助産婦看護婦法</li> </ol> </li> <li>3.       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) カルテ（医療情報提書）の読み方</li> <li>2) “薬（処方箋）”の中身の調べ方と重要な薬の副作用の理解</li> <li>3) 主な検査データの読み方（血算・生化学・尿）</li> <li>4) 入所者の全身状態の把握の仕方</li> <li>5) 入所者の緊急状態の把握の仕方と救急処置</li> </ol> </li> <li>4. 介護士自身の健康管理法介護士が職務上注意すべき疾患とその予防法       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康の原則</li> <li>2) 健康増進と生活習慣病などの疾病予防法</li> <li>3) 注意すべき疾患とその予防法 腰痛症（ヘルニア・坐骨神経症・脊柱官狭窄症・すべり症など） 手足のしびれ</li> </ol> </li> </ol>		①人口統計	③医療関係者の現状	⑤医療保障制度	②疾病と受療状況	④医療施設の現状		①老人保健対策	③生活習慣病対策	②精神保健対策	④母子保健対策など
①人口統計	③医療関係者の現状	⑤医療保障制度									
②疾病と受療状況	④医療施設の現状										
①老人保健対策	③生活習慣病対策										
②精神保健対策	④母子保健対策など										
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席点と筆記試験</p>											

〔授業科目〕形態別介護技術Ⅲ 精神／知的障害	新井幸恵
〔開講期〕03-2年前期	
<p>〔授業目標〕</p> <p>① 知的障害者、精神障害者と出会う          出会った思い出を振り返る</p> <p>② 精神保健の授業を振り返りながら、知的障害、精神障害について再び学ぶ          ありふれた障害、病気であること          「適切な支え」があれば、ふつうの暮らしができること          精神保健福祉の歴史と動き／介護福祉士に期待されていること</p> <p>③ 適切な支えとは何だろう          希望や願いを知ること、体のサインを知ること          つらい気持ちに傾聴すること（耳と心と手を使って）          どんな場に出会うのだろう          地域で暮らすとき／ホームヘルプでの援助          社会復帰施設を利用するとき／仲間や地域とのかかわりを通じて          入院、入所しているとき／医療スタッフとのチームケアを活用して</p> <p>④ 障害の成り立ちと回復の要因、過程を学ぶ</p> <p>⑤ 地域の回復者のメッセージをうかがう</p> <p>⑥ 介護福祉士の援助技術を考える</p>	
〔テキスト〕中央法規 形態別介護技術（1年に同じ）	
<p>〔参考図書〕</p> <p>①日本ダウン症協会「ようこそダウン症のあかちゃん」2000年</p> <p>②松浦幸子「不思議なレストラン」教育資料出版会1997年</p> <p>③古川奈津子「心を病むってどんなこと？」ぶどう社2001年</p>	
<p>〔授業計画〕</p> <p>①授業前準備として春休みに課題を出す          各自、関心のある障害者施設を訪問（ボランティア）した記録を提出する</p> <p>②各自の記録をもとに、地域にどんな社会資源があるか考える</p> <p>③以下授業目標に沿って介護福祉士の援助技術を学ぶ          見学、事例、ビデオ、当事者の授業への参加、3分間スピーチなどを活用し          体験的に知的障害者、精神障害者のニーズとそのケアについて学習する</p>	
<p>〔評価方法〕</p> <p>中間レポート、授業態度、筆記試験の総合評価</p>	



【授業科目】形態別介護技術Ⅳ（視覚障害）	【担当者】立花明彦
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】          視覚障害といっても、障害の程度（見え方）、障害の発生原因とその時期、今後の進行予測など個人によって様々である。いずれにしても、日常生活において受ける影響は大きくその克服は容易ではない。本講義は、その障害を克服して社会的に自立するために必要な援助について学習する。</p>	
<p>【テキスト】          改訂新版 視覚障害者の介護技術—介護福祉士のために—          点訳のしおり</p>	
<p>【参考書】          必要に応じてその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) 視覚障害に関連する医学的知識として、目の構造と機能、視覚障害の原因となる疾病、保有感覚の働きと活用などの基礎的な知識を学習する。</p> <p>(2) 厚生労働省による身体障害児・者実態調査を参考資料とし、視覚障害児・者の統計的動向を理解する。</p> <p>(3) 視覚障害児・者の教育、職業、リハビリテーション、ユニバーサルデザインの現状を理解する。</p> <p>(4) 視覚障害者とのコミュニケーションの一つとして点字の基礎的な知識技能を学習する。</p>	
<p>【評価方法】          出席状況、平常点（学習態度）、筆記試験</p>	

【担当科目】 介護実習 Ⅲ	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・新井幸恵・落海文子・鷹野直子
【開講期】	2 年 前 期
<p>【授業 目標】</p> <p>1. 実習第Ⅲ期（総合実習）</p> <p>(1) 受け持ち利用者の介護計画を立案、実施、評価し個別的介護援助過程を学ぶ。</p> <p>(2) 夜勤などの変則勤務を体験し利用者の24時間の生活を理解する。</p> <p>(3) 介護福祉士としての自己覚知をもち、自己の介護観を述べるができる。</p> <p>(4) 第Ⅲ期終了後に受け持ち利用者の介護援助実践過程をまとめレポート作成を行う。</p> <p>2. 在宅における利用者の実態を理解し介護上のニーズを把握しそれに応じた在宅介護の実際を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>実習要項他</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>実 習 計 画</p>	
<p>【第Ⅲ期介護実習】</p> <p>1. 個別介護援助計画の立案、実施、評価の方法を習得する。</p> <p>1) 受け持ち利用者の全体像を把握し介護上の課題を明確にしたうえで介護援助計画を作成する。</p> <p>2) 介護計画の内容については実習指導者の助言を得た後に実践する。</p> <p>3) 介護実践を評価考察し所定の記録用紙に記録する。</p> <p>計画の修正が必要な場合には実習指導者のスーパービジョンを受けて実践し評価する。</p> <p>2. 夜勤実習</p> <p>利用者の24時間の生活援助を経験する。</p> <p>3. 介護福祉士としての資質、適性を身につける</p> <p>1) 実習を通して介護者としてのあり方、援助の内容を分析し介護福祉士としての自己覚知を深める。</p> <p>2) 自己の介護観を明確にする。</p> <p>実習期間 平成15年9月1日から27日までの20日間</p> <p>実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p> <p>【在宅介護実習】</p> <p>在宅介護実習は前期の実習指導Ⅱ、及び空き時間を活用して段階的に体験する。詳細については別途指示する。</p> <p>1. 学内オリエンテーション（4月）</p> <p>2. 事前現場オリエンテーション（5月）</p> <p>3. 訪問介護実習（6-7月にかけて1-2日間実習）</p> <p>4. 学内報告会（7月下旬）</p>	
<p>【評価方法】 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。</p>	

【担当科目】 実習指導Ⅱ	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・新井幸恵・落海文子・鷹野直子
【開講期】	2 年 前 期
<p>【授業 目標】</p> <p>(1) 介護福祉専門職としての自己覚知をもち、専門職に求められる資質技能及び自己に求められる課題把握など、総合能力を修得する。</p> <p>(2) 介護実習第Ⅱ期を通じて得られた知識・技術をもとに、実際的に応用する能力を修得する。</p> <p>(3) 個別介護援助計画を立てて実施し評価する方法を学ぶ。</p> <p>(4) 在宅介護実習の意義と実際について総括的に学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>実習要項他</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 介護実習第Ⅱ期のまとめ。介護実習第Ⅲ期の準備を行う。</p> <p>介護実習第Ⅱ期のスーパービジョン及び第Ⅲ期実習に向けての演習並びにグループ討議を行う。</p> <p>1) 介護実習第Ⅱ期後のスーパービジョン、個別面接。評価</p> <p>2) 介護実習第Ⅲ期 配属施設の決定。</p> <p>3) 受け持ち利用者の情報収集、アセスメント、援助課題発見と分析方法の演習。</p> <p>4) 介護援助計画の立案、実施、評価方法について学ぶ。</p> <p>2. 在宅介護実習の事前学習、オリエンテーション、事後反省会を実施し総括学習を行う。</p> <p>(介護実習第Ⅲ期)</p> <p>実習期間 平成15年9月1日から27日までの20日間</p> <p>実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p>	
<p>【評価方法】 出席点、レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。</p>	

【担当科目】 実習指導Ⅲ	【担当者】 関谷榮子・西方規恵・土川洋子・新井幸恵・落海文子・鷹野直子
【開講期】	2 年 後 期
<p>【授業 目標】</p> <p>(1) 介護福祉専門職としての自己覚知をもち、専門職に求められる資質、技能及び自己の学習課題把握など、総合能力を修得する。</p> <p>(2) 介護実習第Ⅲ期で実施した個別介護援助計画のまとめを行い自己の介護をふりかえる。</p> <p>(3) 個別介護計画を実施し評価する方法を学ぶ。介護事例検討会を行う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>実習要項他</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1. 介護実習第Ⅲ期</p> <p>実習期間 平成15年9月1日から27日までの20日間</p> <p>実習施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者療護施設、肢体不自由児者施設、救護施設などから学校の指定施設にて行う。</p> <p>2. 実習終了後</p> <p>1) 第Ⅲ期介護実習のまとめ、介護援助実践をふりかえり実施した個別介護援助について自己評価する。</p> <p>2) 受け持ち利用者のケーススタディ・レポートを作成する。</p> <p>3) グループ単位で事例検討会を行う。</p> <p>4) 1. 2年生合同で事例検討発表会を行う。(平成15年12月16日予定)</p>	
<p>【評価方法】 出席点、 レポート・日誌・記録の内容、面接、その他の資料により評価する。</p>	

【授業科目】 卒業研究ゼミナール	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>I：福祉施設や医療現場で使用される医療機器の理解  II：介護実習の症例検討：医学的視点を加えて  III：医療と福祉の接点に関連する本や雑誌の輪読と新聞記事などから up-to-date な記事を選び議論する</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>I：福祉施設に入所している高齢者や在宅高齢者の多くは、介護面からのケアと同時に医療的処置を必要としている場合が多い。このような高齢者に、質の高い医療・福祉を提供するためには医療スタッフ以外の介護職も基本的な医療機器の知識をもつことは、緊急時などに医療スタッフと共に協力して高齢者に対処することができるし、介護福祉士の自信にも繋がる。また、将来これらの知識を持つ事を公に要求される時期がくることも予想される。よって、その機器がどのような機器でその機器を使用する目的（どういう状況の時に使用するか）は何か、などの理解をめざす。学生同志でお互いに測定し合う・それらを装着して体験を試みる。</p> <p>具体的には、</p> <p style="padding-left: 2em;">尿道カテーテル（バルーン）  点滴セット・IVH とは？  ストマ・酸素マスク・酸素ボンベの見方や管理の仕方・痰吸引機の取り扱い方  血圧計・心電図・体温計の原理や使用方法 など</p> <p>II：介護実習 III 期で担当した症例を一人ずつ報告してもらい、質疑応答しながら医学的視点から再検討を加え、より良い介護をめざす。</p> <p>III：本や雑誌・新聞などから up-to-date な医療と福祉の接点に関連する話題を選び分担を決めて報告し合い、担当者の内容説明を中心にして、皆で discussion し理解を深める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="padding-left: 2em;">出席点・授業姿勢・レポートなど</p>	

【担当科目】 卒業研究 ゼミナール	【担当者】 関谷 榮子
【開講期】 2 年 前 ・ 後 期	
<b>【授業 目標】</b> 1. 地域で生活する障害者や高齢者の実態を学び、介護援助の課題を考える。 2. 学生自身の問題意識を尊重し体験学習を通じて自主的・実践的に学ぶ能力を養う。	
【テキスト】	
<b>【参考書】</b> ゼミナールの中で紹介する。各自で探して報告する。	
授 業 計 画	
<p>要介護高齢者および障害者が実際にはどのようにして生活し、どのような要望を持ちどのような援助を求めているのか、まず無心に耳を傾ける。</p> <p>当事者からの問題提起によって学生は多くの気づきがあるであろう。またハンディキャップをせおいつつ生きていくにはどのような努力がされただろうか。</p> <p>援助者には何を期待するのだろうか。</p> <p>要介護高齢者や障害者の方々から新鮮な感動や驚きを得たい。また援助者として何が必要かを考えて身近なところで実践に踏み出していきたい。</p> <p>在宅の要介護高齢者のお宅を訪ねたり、障害者の方がたとともにすごしたり体験を深めその中から生活援助のあり方を考え介護者としての資質を高めたい。</p> <p>&lt;前期&gt;  学内の活動  参考書やビデオなどから各自で学び抄読会を行う。</p> <p>地域活動  在宅の障害者や高齢者の家庭を訪問し直接当事者の方々から話を聞く。  障害者団体の旅行に付き添う。ボランティア活動などを行う。</p> <p>&lt;後期&gt;  地域活動を継続し、レポートにまとめる。  在宅ケアのあり方をまとめる。  白梅祭に参加し、研究発表を行う。</p> <p>学生同士のボランティア活動に協力したり、ゼミ運営は学生自身の自主活動とする。</p>	
【評価方法】 出席点、レポート・その他により評価する。	

【授業科目】 卒業ゼミナール	【担当者】 土川 洋子
【開講期】 2年 前・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生活を支える上で、「心」の交流は重要である。しかし、現代社会の中で最も難解な援助技術である。専門職として求められる「よりよい対人関係」を構築する上で重要な「介護者自身のあり方」について考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他者理解に不可欠な「対人関係」の構築方法を理解する。       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) コミュニケーション技術の実際</li> <li>2) 介護者の自己理解</li> </ol> </li> <li>2. 能動的・自発的な学習・研究態度の重要性を理解する。</li> </ol>	
【テキスト】 なし	
<p>【参考書】</p> <p>必要時、ゼミナールの中で紹介する。 学生個別に必要な文献を使用する。</p>	
授 業 計 画	
<p>&lt;前期&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーション技術       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 傾聴</li> <li>2) 共感</li> <li>3) 受容</li> </ol> <p>これらについて、日常会話の事例をグループワークで討議する。</p> </li> <li>2. 自己理解       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自己概念</li> <li>2) 自己受容</li> <li>3) 介護者の知覚・感情・思考</li> <li>4) 自己表現</li> </ol> <p>これらについて、交流分析・グループワーク理論をもとにグループワークで討議する。</p> </li> </ol> <p>&lt;後期&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 能動的・自発的な学習態度       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 参考文献の検索方法を学ぶ。</li> <li>2) 研究論文の輪読を行う。</li> <li>3) 興味のある「学習テーマ」を探索する。</li> <li>4) 「学習テーマ」についてプレゼンテーションする。           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 基本的に、学生主体であり、テーマは学生の興味のあることであればジャンルは問わない。</li> <li>➢ 「学習テーマ」では、「結論」や「公式」を導き出のではなく、「課題」や「疑問」を導き出し、今後の介護活動など実践の場で鍛錬してゆくきっかけ作りとなるものにする。</li> <li>➢ グループワークが持つ様々な機能を活用して、学生間での相互作用を引き出し、「学習テーマ」の目的達成を目指す。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点、レポート、平常点などにより評価する。</p>	

【授業科目】卒業研究ゼミナール	【担当者】西方規恵
【開講期】2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>障害者・高齢者の介護について考える</p> <p>施設見学・利用者宅訪問なども行いながら、介護実習で学んだことも生かして、介護についての考えを深めていく。</p>	
【テキスト】ゼミナールの中で紹介する	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>前期：</p> <p>参考書・ビデオなどを参考にしながら、障害のある方、高齢の方の介護について学ぶ。</p> <p>障害者の施設、病院、就労の場などを見学し、その中で介護について考える。</p> <p>後期：</p> <p>前期に学んだことをいかしてより深めたいことを決める。</p> <p>それに基づいて本・資料・現場の方の話を伺ったりして介護についてまとめる。</p> <p>2002年度は中途障害者の方の話を伺ったり、訪問させていただく事ができた。また痴呆の高齢者を介護されている家族の方にお話を伺うことができた。それらのことから、在宅介護について学んだ。</p> <p>ゼミナールは自主的に学ぶ場であるので、様々な問題意識をもってお互いの意見交換をして、多くのことを学んでほしい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・ゼミに取り組む姿勢、態度・レポートなどにより評価する</p>	



【授業科目】卒業研究ゼミナール	【担当者】山路憲夫
【開講期】2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「少子高齢社会と社会福祉」という共通テーマで現代における社会福祉のさまざまな問題を取り上げる。</p> <p>まもなく日本は人類がこれまで経験したことがない未曾有の少子高齢社会に突入する。そこでは、これまでの社会福祉の枠組みだけでは解決できない問題が出て来よう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>政府の厚生労働白書や高齢白書、さらに関連する新聞記事を選び、議論する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>日本の少子高齢化の現状</p> <p>高齢者を取り巻く状況(生活実態、健康、要介護状態、家族)</p> <p>高齢化対策(介護、雇用、年金、健康予防)</p> <p>欧米の高齢化の状況とその対策</p> <p>公的介護保険がスタートした背景とその問題点</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と論議の参加状況、レポート</p>	

【授業科目】地域福祉論	【担当者】山路憲夫
【開講期】前期	
<p>【授業目標】</p> <p>2003年度から本格的に始まる社会福祉基礎構造改革は、利用者本位の福祉の確立と共に、地域福祉の推進を柱とする。自立して生活することが難しい個人、家族に地域で自立して暮らせるように必要な援助をする。そのために必要な在宅サービスを提供し、それを支えるネットワークも作るのが、地域福祉の役割です。具体的にそれをどう進めていくのか。</p> <p>できるだけ地域福祉の実態をじかに見学、研修しそれを学び、考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>新社会福祉学習双書 2003「新版・社会福祉学習双書編集委員会・編」(全国社会福祉協議会発行)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>地域福祉の歴史的発展</p> <p>在宅サービスと地域ケア</p> <p>地域での自立支援とコミュニティ・ソーシャルワーク</p> <p>地域福祉計画作り</p> <p>エンパワーとボランティア</p> <p>地域福祉の推進主体</p> <p>地域福祉推進の課題</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験</p>	

【授業科目】 ホスピスケア概論	【担当者】 梅田 嘉子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ホスピスとはなにか、その歴史的背景および諸外国の例とわが国の現状を知り、さらに「死の意味」や「死にゆく人々の心理」を理解しつつ、末期医療・介護のあり方を学んでいく。さらに講義・討議・レポート等を通して、ホスピスケアの基礎を学びとり、「より良く生きていくー新しい生き方」を探り、そして、自分自身の死生観を築きあげる一助になれば。と思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柏木哲夫著 『死を看取る医学ーホスピスの現場から』 NHK出版</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>谷壮吉・錦織 共著『最新ホスピスQ&amp;A100』 東京書籍</p>	
授 業 計 画	
<p>1. ホスピスとは</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ホスピスの歴史、理念・定義</li> <li>2) ホスピスの使命・形態</li> <li>3) 諸外国の現状とわが国の現状</li> </ol> <p>2. 死の意味するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 死とは何か … 定義</li> <li>2) 末期医療 ～ 日本における問題点</li> <li>3) 死にゆく人の心理過程</li> <li>4) 日本人の心理過程</li> <li>5) 安楽死・尊厳死・自殺等</li> </ol> <p>3. ホスピスケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ホスピスでの生活</li> <li>2) 病名告知の問題 ～がんと心のもち方</li> <li>3) 緩和医療とそのケアについて</li> <li>4) ホスピススタッフ～ホスピスボランティア</li> <li>5) 家族へのケア&lt;遺族になっても&gt;</li> </ol> <p>4. 在宅における（地域）ホスピスケア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 家族の心理（気持）および在宅ケアについて</li> </ol> <p>5. 「死への準備教育」のすすめ</p>	
<p>【評。価方法】</p> <p>出席日数・レポートの内容と講義を受ける態度・平常点から総合的に評価する</p>	

[授業科目名] 視聴覚メディア活用法	「担当者」八木 紘一郎
[開講期] 2年後期	
<p>[授業目標]</p> <p>パソコンをマルチに使いこなす「技術」「知恵」を磨く。これからの介護現場に従事する人たちの『表現文化性』を豊かにするためのアイデアとテクニックの習得をめざす。</p>	
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>なし</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この演習では、介護現場の「表現文化性」を豊かにするための知恵を教授する。 以下に提示した項目のいくつかを扱うことになる。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、基本テクニックとしてのパワーポイントの習得            パソコン使用技術はあることを前提にして授業をする。            共通テクニックとしては、パワーポイントだけ。あとはデジタルカメラ、スキャナ、イラスト、写真、など            ビジュアルに描くテクニックなどを全てマルチに幅広く活用していく。</li> <li>2、表現文化性豊かなコミュニケーションツールの製作            カード作成(クリスマスカード・年賀状)            誕生カード(実習先の利用者を想定した誕生カードの作成方法)            カレンダー作成</li> <li>3、デイケアのアートレクリエーション・ツールに使えるパソコンテクニック</li> <li>4、実習先の施設紹介ちらし・パンフレット作成            PR用のレイアウト・デザインに必要な基本知識とテクニック</li> <li>5、実習施設における各種行事の案内状作成            1年間を通した四季折々の季節行事・運動会・生活展・お祭りなどの案内状作成に            必要な基本テクニックとマナー等の習得</li> </ol>	
<p>[評価方法]</p> <p>平常点</p>	



学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

教務課 042(346)5619